LG
Life's Good

# ユーザーガイド

User Guide

LG G3 Beat

LG-D722J

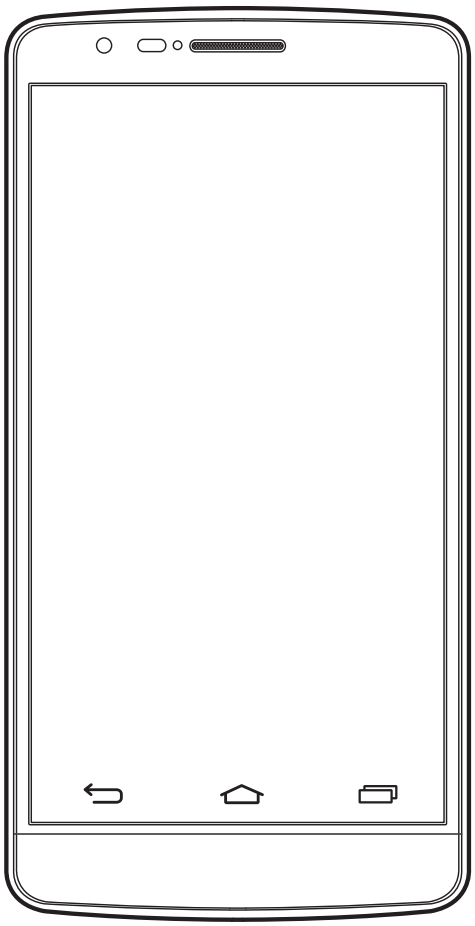
MFL68821601 (1.0)

www.lg.com

日本語

# ユーザーガイド

- ご使用の前に本体付属の「取扱説明書」「ご利用にあたっての注意事項」「設定ガイド」をお読みください。
- 本書の画面や図は、お使いの端末と異なる場合があります。
- 本書のすべての情報は、通知なしで変更されることがあります。
- Copyright ©2014 LG Electronics, Inc. All rights reserved. LGおよびLGロゴは、LG Groupとその関連会社の登録商標です。 その他の商標は各所有者の所有物です。
- Google™、Google Maps™、Gmail™、YouTube™、Hangouts™およびPlay Store™は、Google, Inc.の商標です。



# 目次


本製品のご利用について ..... 5

免責事項について ..... 6

安全上のご注意（必ずお守りください） ... 7

重要な注意事項 .....43

本製品の基本説明 .....48
- 本製品の概要.....48
- au Micro IC Card (LTE)および電池パックの取り付け.....50
- 本製品の充電.....52
- 電源を入れる／切る .....54
  - 電源を入れる .....54
  - 電源を切る .....54
- microSDカードの使用 .....54
- 画面のロックおよびロック解除 .....56

ホーム画面.....57
- タッチスクリーンのヒント .....57
- ホーム画面 .....58
  - デスクトップを切り替える.....58
  - ホーム画面のカスタマイズ .....59
- 通知パネルとステータスバー .....60
  - 通知パネルを開く .....61
  - ステータスバー上のインジケーターアイコン .....61
- ソフトウェアキーボード .....63

Googleアカウントのセットアップ.....64

ネットワークおよび機器への接続.....65
- Wi-Fi .....65
  - Wi-Fiネットワークへの接続.....65
  - Wi-FiをオンにしてWi-Fiネットワークに接続するには.....65
- Bluetooth .....66
- モバイルネットワークの共有 .....67
- Wi-Fi Direct.....69
- SmartShare .....69
- 近くにある機器のコンテンツを楽しむ.....70
- microUSBケーブルでのパソコン接続 .....70

通話 .....72
- 通話 .....72
- 連絡先への発信.....72
- 着信の応答と拒否.....72
- 通話音量の調整.....73
- 三者間通話の発信 .....73
- 通話ログの表示.....73
- 通話設定 .....74

連絡先.....75
- 連絡先の検索.....75
- 新しい連絡先の追加.....75
- お気に入りの連絡先.....75
- グループの作成.....76

Googleハングアウトを利用する.....77
- メッセージの送信 .....77
- スレッドについて .....77
- 設定を変更する.....77

Eメール.....78
- Eメールアドレスを取得／変更する...78
- 電子メール アカウントの管理.....79
- アカウント フォルダーの操作 .....79
- 電子メールの作成と送信 .....79

カメラ.....80
- ビューファインダーの画面構成 .....80

**詳細設定の使用.....81**
**簡単な写真の撮影 .....81**
**写真の撮影後.....82**
**ジェスチャーショットで撮影する.....83**
**パノラマ写真を撮影する .....83**
**簡単なビデオの録画.....84**
**ビデオの録画後.....84**

**機能 .....85**
**ゲストモード .....85**
**ノックコード.....85**
**ノックオン .....85**
**Qメモ+ .....86**
Qメモ+オプションの使用.....86
保存したメモの表示 .....86
**Qスライド .....87**
**Qリモート .....88**
**ライブズームを利用する.....89**

**マルチメディア .....90**
**ギャラリー .....90**
画像の表示.....90
ビデオの再生 .....90
写真の編集.....91
写真/動画の削除.....91
壁紙として設定.....91
**音楽 .....92**
曲の再生.....92
本製品に音楽ファイルを追加.....93
メディアデバイス(MTP)を使用して
音楽を転送.....94

**ユーティリティ .....95**
**アラームの設定.....95**
**電卓の使用.....95**
**カレンダーへの予定の追加 .....95**
**ボイスレコーダー .....96**
音または音声の録音.....96
**タスク.....96**
**ThinkFree Viewer .....97**
**Google+.....97**
**音声検索 .....98**
**ダウンロード.....98**
**LG SmartWorld.....98**
本製品からLG SmartWorldに
アクセスする方法 .....98

**Web ..... 100**
**インターネット ..... 100**
Webツールバーの使用.....100
Webページの参照 .....100
ページを開く.....100
ブックマーク.....101
閲覧履歴.....101
**Chrome ..... 101**
Webページの参照 .....101
ページを開く.....101
他の電話機との同期.....101

**設定 ..... 102**
**ネットワーク ..... 102**
**サウンド..... 105**
**表示 ..... 106**
**一般 ..... 107**

**PCソフトウェア(LG PC Suite).... 112**

**ソフトウェアアップデート..... 115**
**ソフトウェアアップデート..... 115**

**本書について..... 117**
**本書について..... 117**
**商標 ..... 117**

# 目次

同梱品一覧..... 119
　周辺機器のご紹介..... 119

FAQ..... 120

主な仕様..... 125

# 本製品のご利用について

- au Micro IC Card (LTE)を取り付ければ、本製品での通話、データの送受信が可能になります。本製品がネットワークに接続されない場合は、UQ mobileお客さまセンターにお問い合わせください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本製品の故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社※としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリカードに保存することをおすすめします。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDIバリューイネイブラー株式会社・沖縄バリューイネイブラー株式会社
輸入元:LG Electronics Japan株式会社
製造元:LG Electronics Inc.

# 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『ユーザーガイド』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

## ■表示の説明

**⚠危険** この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

**⚠警告** この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。

**⚠注意** この表示は「人が軽傷※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

## ■図記号の説明

禁止

禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

濡れ手禁止

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

分解禁止

分解してはいけないことを示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。

電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

## ■本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

**⚠危険**

- 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

**必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。**

**高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。**

**ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。**

**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。**

**火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。**

**microUSB接続ポートやイヤホンジャックをショートさせないでください。また、microUSB接続ポートやイヤホンジャックに導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。**

**金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際にmicroUSB接続ポートやイヤホンジャック、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。**

**カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。**

**お客様による分解や改造、修理をしないでください。**
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

## ⚠警告

- 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

**落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。**

**屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。**

**microUSB接続ポートに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。**

**本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。UQ mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。**

水濡れ禁止

**本体が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。**

濡れ手禁止

水濡れ禁止

濡れ手禁止

**水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタ（別売）の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。**

禁止

**背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。**

禁止

**自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。**

禁止

**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。**

禁止

**乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。**

## ⚠注意

- 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

**直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。**

禁止

**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。**

**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。**

**外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。**

**本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。**

**コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。**

**背面カバーを外したまま使用しないでください。**

**腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。**

**本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。**

**使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定のACアダプタ（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、UQ mobileお客さまセンターまたは端末故障受付センターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、UQ mobileお客さまセンターまたは端末故障受付センターまでご連絡ください。**

**イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。**
**また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。**

**イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。**

**ACアダプタ（別売）や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。**

## ■本体について

**⚠危険**

- 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

**本体に釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。**

**分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。**

**ペットが本体に噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。**

**⚠警告**

- 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

**自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。**

指示

**病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。**

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

指示

**航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。**

自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

**植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。**

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
    - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
    - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
    - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
    - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

**通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。**

**赤外線センサーを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。**
**また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。**

**レーザーオートフォーカスセンサーのレーザー光を直接見ないでください。**
目を傷めるおそれがあります。

**フラッシュをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。**

**自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてフラッシュを点灯させないでください。**
目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

**ごくまれに点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。**

## ⚠注意

- 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

**自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。**

**皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。**

**■本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。**

| 使用箇所 | | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| フロントケース | | PC樹脂 | 蒸着 |
| リアケース | | PC-PCR 50% | ― |
| 電源／ロックキー | | AL | 陽極酸化処理 |
| 音量キー | | PC樹脂 | 塗装 |
| ディスプレイ | | 強化ガラス | ― |
| 受話口 | チタン | SUS | 焼付塗装 |
| | ホワイト | | ― |
| カメラレンズ | | アクリル | 蒸着、印刷 |
| フラッシュ | | アクリル | ― |
| 赤外線センサー／<br>レーザーオートフォーカスセンサー | | PC樹脂 | ― |

禁止 **キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。**

禁止 **au Micro IC Card (LTE)／microSDカードスロット、イヤホンジャックに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。**

禁止 **イヤホンなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。**

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。**

指示 **本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。**

禁止 **砂浜などの上に直に置かないでください。受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。**

禁止

**通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。**

## ■電池パックについて

本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。
充電してからお使いください。

**⚠危険**

- 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

**電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。**

禁止

**電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。**

禁止

**釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。**

禁止

**持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となる場合があります。**

分解禁止

**分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。**

禁止

**落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。**

**電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、端末故障受付センターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。**

**液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。**

**電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。**

**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。**

## ■充電用機器について

**⚠警告**

- 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

**指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。**

- ACアダプタ(別売):AC100V ～ 240V

**指定のACアダプタ(別売)の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定のACアダプタ(別売)が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。**

**指定のACアダプタ(別売)のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。**

**microUSB接続ポートに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。**

**雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。**

**お手入れをするときは、指定のACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。**

**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。**

**車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。**

**長時間使用しない場合はACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。**

**水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタ（別売）の電源プラグを抜いてください。**

## ⚠注意

- 必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

**風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタ（別売）を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。**

**充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。**

**指定のACアダプタ(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。**

## ■au Micro IC Card (LTE)について

**⚠警告**

- 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

**⚠注意**

- 必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

**au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。**

**au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、UQ mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。**

**au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。**

**au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。**

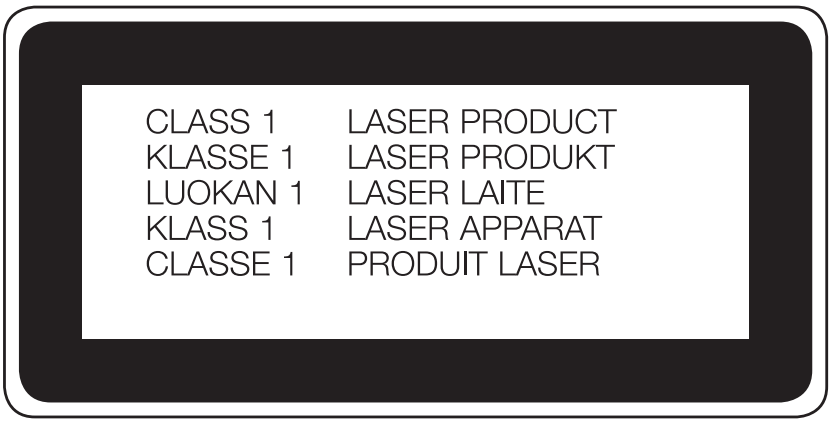
**au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。**

## レーザーの安全上のご注意

**注意!**

本製品はレーザーシステムを採用しています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、お読みになった後も大切に保管してください。修理が必要な場合は、UQ mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。

本書の指定以外の方法で本製品を使用、調整した場合、有害なレーザー光等にさらされる原因となります。レーザー光の照射等を防止するため、本製品を分解しないでください。また、レーザー光を直接見ないでください。



# 取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

### ◆ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器をmicroUSB接続ポートやイヤホンジャックに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～ 35℃、湿度35% ～ 85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- microUSB接続ポートやイヤホンジャックをときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『ユーザーガイド』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

## ◆ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシール内に表示された「技適マーク㊣」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、シールをはがさないでください。
- 改造された電話機は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先･メール･お気に入りなどの内容は、事故や故障･修理、その他取り扱いによって変化･消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。
  万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料･無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続ポートやイヤホンジャックに外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- microUSB接続ポートやイヤホンジャックに外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。
- 本製品のmicroSDカードスロットには、microSDカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。

- microSDカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- リアケース部（背面カバーを外した状態で見える背面部分）の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、NFCを認識できなくなる場合があります。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

### ◆ タッチスクリーンについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。
  正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチスクリーンが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチスクリーンに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチスクリーンが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

### ◆ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

### ◆ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定のACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。
- 指定のACアダプタ（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- ACアダプタ（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

### ◆ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、事業者からお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、UQ mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる電話機への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

### ◆ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

## ◆ 音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

## ◆ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

## ◆ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

## ご利用いただく暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

### ■暗証番号

| | |
|---|---|
| 初期値 | 申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号 |

### ■PINコード

| | |
|---|---|
| 初期値 | 1234 |

## プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| 画面ロック | 起動時や画面ロックの解除方法にスワイプ、フェイスアンロック、ノックコード、パターン、PIN、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。 |

## PINコードについて

### ◆ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードのロック」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードのロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

### ◆ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、お問い合わせ先（UQ mobile お客さまセンター）までご連絡ください。
- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

# Bluetooth／無線LAN（Wi-Fi）機能について

- 本製品のBluetooth機能および無線LAN（Wi-Fi）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi）やBluetooth機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

## 2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth機能／無線LAN（Wi-Fi）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、UQ mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターまでご連絡ください。

- 本製品はすべてのBluetooth・無線LAN（Wi-Fi）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth・無線LAN（Wi-Fi）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth・無線LAN（Wi-Fi）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth・無線LAN（Wi-Fi）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

- 無線LAN(Wi-Fi)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth・無線LAN(Wi-Fi)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth・無線LAN(Wi-Fi)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth・無線LAN(Wi-Fi)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth機能および無線LAN(Wi-Fi)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth機能:2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- 無線LAN(Wi-Fi)機能:2.4DS/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域:全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

### 5GHz帯ご使用上の注意

| IEEE802.11 b/g/n | | |
|---|---|---|
| IEEE802.11 a/n | | |
| W52 | W53 | W56 |

本製品の無線LAN（Wi-Fi）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

**■HT20**
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

**■HT40**
W52 (5.2GHz帯 / 38, 46ch)
W53 (5.3GHz帯 / 54, 62ch)
W56 (5.6GHz帯 / 102, 110, 118, 126, 134ch)

## パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となります。

※ 無線LAN（Wi-Fi）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

# アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

# 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【LG-D722J】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）で定めて

おり、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.456W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.324W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
○総務省のホームページ:
**http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm**
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
**http://www.arib-emf.org/index02.html**
○UQ mobileのホームページ:
**http://www.uqmobile.jp**
○LG Electronics Inc.のホームページ:
本製品の「仕様」のページをご確認ください。
**http://www.lg.com/jp/mobile-phone**
（URLは予告なく変更される場合があります。）
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

# Declaration of Conformity

The product "LG-D722J" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.506 W/kg at the ear, and 0.342 W/kg when worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

# European Union Directives Conformance Statement

CE 0168 !

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

| | |
|---|---|
| Wi-Fi(WLAN) | This device is intended for sale in Japan only.<br>This equipment may be operated in all European countries.<br>The 5150 - 5350 MHz band is restricted to indoor use only. |

# Important Safety Information

**AIRCRAFT**

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

**DRIVING**

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

## HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

## PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

## INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

### Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

### Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE : Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.
To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

**For other Medical Devices:**
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

**CAUTION**
RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

# FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

**Warning**

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

# FCC RF Exposure Information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.38 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.60 W/kg.

# Body-worn Operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZNFD722J.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://ctia.org/.

# 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

## OpenSSL License

**【OpenSSL License】**

**Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.**

**This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)**

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

**【Original SSLeay License】**

**Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.**

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER

IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

# 重要な注意事項

## 本書をよく読んでから、本製品の使用を開始してください。

本製品に問題が発生したときは、UG mobileお客さまセンターもしくは端末故障受付センターに問い合わせる前に、その問題についての説明が本書に記載されていないかどうか確認してください。

## 1. 本製品のメモリ

本製品のメモリの空き容量が10%未満になると、本製品で新しいメッセージを受信できなくなります。本製品のメモリを確認して、アプリケーションやメッセージなどの一部のデータを削除し、利用可能なメモリを増やしてください。

**アプリケーションをアンインストールするには、次の手順を実行します。**

1 ⌂ > **[設定]** > **[一般]**タブ > **[アプリ]** > **[すべて]**タブの順にタップします。
2 すべてのアプリケーションが表示されたら、アンインストールするアプリケーションまでスクロールして選択します。
3 [**アンインストール**]をタップします。

## 2. 電池パック寿命の最適化

バッテリーを長持ちさせるために、バックグラウンドで継続的に実行する必要のない機能をオフにします。また、アプリケーションやシステムがどの程度電池パックを消費するかを監視できます。

**本製品のバッテリーを長持ちさせるには**

- Wi-Fi、Bluetooth、またはGPSを使用していない場合はオフにします。
- 画面の輝度を下げ、画面のタイムアウトの設定を短くします。
- Gmail、カレンダー、連絡先、およびその他のアプリケーションの自動同期をオフにします。
- ダウンロードしたアプリケーションの中には、電池の消耗が激しくなるものがあります。

- ダウンロードしたアプリケーションを使用しているときは、バッテリーの充電レベルを確認します。

**バッテリー残量を確認するには**

- ⌂ > **[設定]**> **[一般]**タブ >**[端末情報]** > **[バッテリー]**の順にタップします。

バッテリーの状態（充電中または非充電中）とバッテリーの残量（充電率）が画面の上部に表示されます。

**バッテリーの使用状況を監視して制御するには**

- ⌂ > **[設定]** > **[一般]**タブ > **[端末情報]** > **[バッテリー]** > **[バッテリー消費状況]**の順にタップします。

バッテリーの使用時間が画面に表示されます。本製品を起動してからどのくらいの時間が経過しているかがわかります。また、画面の下部にバッテリーを消費するアプリケーションやサービスが、使用量が最大のものから最小のもの順に一覧表示されます。

# 3. オープンソースおよびOSをインストールする前に

**⚠ お知らせ**

メーカーが提供するもの以外のOSをインストールして使用すると、本製品に不具合が生じることがあります。また、本製品は保証の対象ではなくなります。

**⚠ お知らせ**

本製品や個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる提供元からのみ、アプリケーションをダウンロードするようにしてください。本製品上に不適切にインストールされたアプリケーションがあると、正常に動作しなかったり、深刻なエラーが生じたりすることがあります。これらのアプリケーションと付随のデータや設定は、すべて本製品からアンインストールする必要があります。

# 4. 画面ロックの使用

画面ロックを設定して、本製品のセキュリティを保護します。画面ロックの解除方法には「スワイプ」「フェイスアンロック」「ノックコード」「パターン」「PIN」「パスワード」があります。

⌂ > [**設定**]> [**表示**]タブ > [**画面のロック**] > [**画面ロックを選択**]の順にタップし、画面ロックの解除方法を選択して、画面の指示に従い設定します。ノックコードとパターンを設定した場合は、設定内容を忘れたときの安全対策として、バックアップPINを作成する必要があります。

**注意**：ノックコードとパターンを設定するときに作成したバックアップPINを忘れないようにしてください。

**ヒント**：画面ロックの解除方法を設定する前にGoogleアカウントを作成しておくと、PIN、パスワード、バックアップPINを忘れたときに便利です。

**<ノックコード、パターン、PIN、パスワードを間違った場合>**

間違ったノックコード、パターン、PIN、パスワードを5回入力すると、本製品にアクセスできなくなります。

ノックコードの場合には、[**OK**]をタップすると再度入力画面が表示されます。もう一度間違ったノックコードを入力するか、画面下部の[**ノックコードを忘れましたか?**]ボタンをタップすると、バックアップPINの入力画面になります。バックアップPINの入力で本製品にアクセスできます。

パターン、PIN、パスワードの場合には、30秒後に再試行できます。パターンの場合は、画面下部の[**パターンを忘れましたか?**]ボタンをタップすると、バックアップPINの入力画面になります。バックアップPINの入力で本製品にアクセスできます。

**<PIN、パスワード、バックアップPINを忘れた場合>**

本製品にGoogleアカウントを設定している状態で、PIN、パスワードの入力が5回とも間違っていた場合、画面下部に表示される[**PINコードをお忘れですか?**] [**パスワードをお忘れですか?**]ボタンをタップします。次に、Googleのアカウントでログインすると本製品にアクセスできます。ノックコード、パターンの場合も、Googleのアカウントでログインして本製品にアクセスできます。

本製品上でGoogleアカウントを作成していない場合や、バックアップPINを忘れた場合は、ハードリセットを実行する必要があります。

**注意**：ハードリセットを実行すると、ユーザーアプリケーションおよびユーザーデータがすべて削除されます。

## 5. ハードリセットの実行（工場出荷状態へのリセット）

本製品を工場出荷状態に戻すには、以下の手順でハードリセット（工場出荷状態へのリセット）を実行して初期化します。

1 電源をオフにします。
2 本製品の**電源**／**ロックキー**と**音量キー**の下を同時に押し続けます。
3 LGロゴが表示されたら、両キーから指を離し、再度**電源**／**ロックキー**を押し続けます。
4 「Factory data reset」画面が表示されたら、**電源**／**ロックキー**から指を離します。
5 **音量キー**を押して「Yes」にスクロールし、**電源**／**ロックキー**を押します。
6 **音量キー**を押して「Yes」にスクロールし、**電源**／**ロックキー**を押すとハードリセットを開始します。

**⚠ お知らせ**
ハードリセットを実施すると、ユーザー アプリケーション、ユーザー データ、およびDRMライセンスがすべて削除されます。ハードリセットを実行する前に、重要なデータをバックアップしてください。

## 6. アプリケーションの起動／終了および切り替え

複数のアプリケーションを同時に実行できます。アプリケーションを起動する前に、別のアプリケーションを終了する必要はありません。いくつかのアプリケーションを起動したまま、使用したり切り替えたりできます。必要に応じて各アプリケーションを終了または起動し、待機状態のアプリケーションが不必要にメモリを消費しないように管理します。

1 **タスクキー** をタップします。最近使用したアプリケーションのリストが表示されます。
2 起動したいアプリケーションをタップします。 この操作を行っても、それまでに本製品でバックグラウンドで実行されているアプリケーションは停止しません。 使用後、アプリケーションを終了するには、**戻るキー** をタップします。

- 最近使用したアプリケーションリストからアプリケーションを削除するには、アプリケーションのプレビューを左または右にスワイプします。 アプリケーションをすべて削除するには、[**すべて消去**]をタップします。

## 7. [メディア同期（MTP）]を使用した音楽、写真、およびビデオの転送

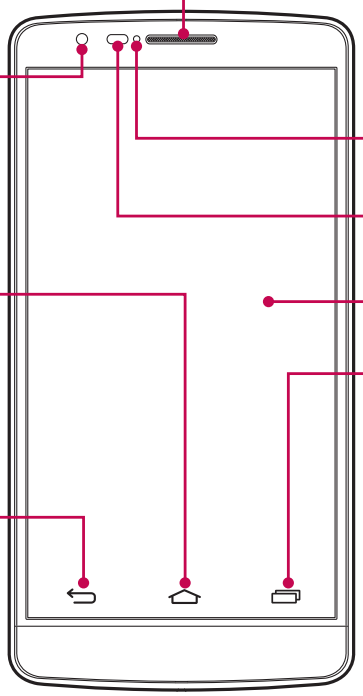
1 ⌂ > **[設定]** > **[一般]**タブ > **[ストレージ]**の順にタップし、ストレージメディアを確認します。
2 microUSBケーブルを使用して、本製品をパソコンに接続します。
3 **[USB接続方法の選択]**が本製品の画面に表示されるので、**[メディアデバイス(MTP)]**オプションを選択します。
4 パソコンのメモリフォルダーを開きます。 パソコンの大容量ストレージコンテンツを確認し、パソコンから本製品のメモリフォルダーへ、または本製品のメモリフォルダーからパソコンへ、ファイルを転送することができます。

## 8. 本製品を垂直に保つ

本製品は、通常の電話機と同じように垂直に持って使用します。本製品には内部アンテナが搭載されています。 本製品の裏面を傷つけたり破損したりしないように注意してください。損傷すると性能に影響する可能性があります。
通話やデータを送受信するときは、アンテナのある本製品の下部を持たないようにしてください。 下部を持つと、通話品質に影響することがあります。

# 本製品の基本説明

## 本製品の概要



**受話口(レシーバー)**

**フロントカメラ**

**通知LED**

**近接センサー**

**ディスプレイ（タッチスクリーン）**

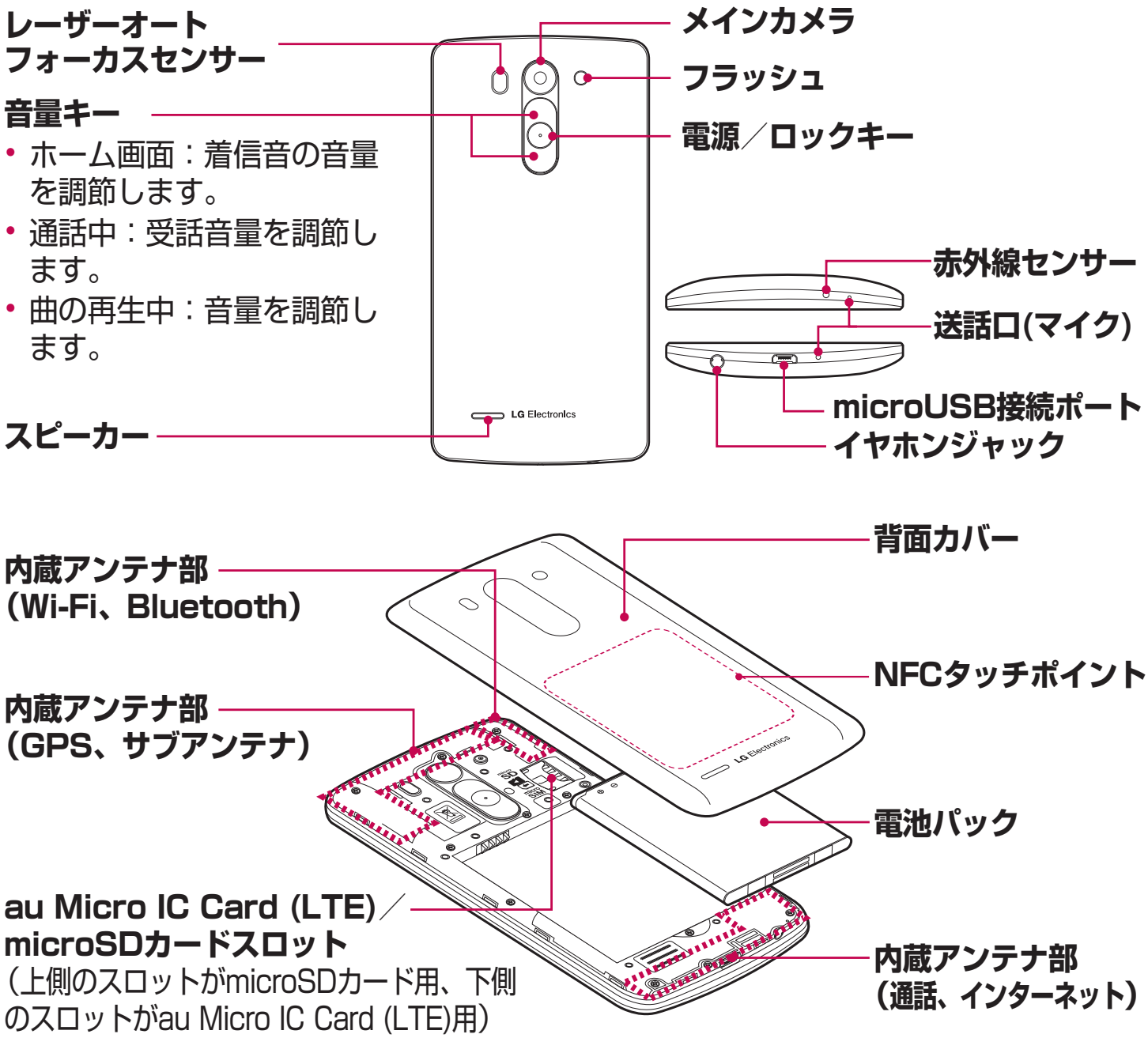
**タスクキー**
最近使用したアプリケーションを表示します。

**ホームキー**
すべての画面からホーム画面に戻ります。

**戻るキー**
- 前の画面に戻ります。
- 使用後、アプリケーションを終了します。

**メモ：近接センサー**
通話中は、本製品が耳のそばにあることを近接センサーが感知して、自動的にバックライトをオフにし、タッチスクリーンをロックします。 この機能によってバッテリーが長持ちするほか、通話中にタッチスクリーンが誤動作することがなくなります。

**⚠お知らせ**
本製品の上に重たいものを置いたり座ったりすると、タッチスクリーンの機能を損なう可能性があります。
近接センサー部を保護フィルムで覆わないでください。保護フィルムで覆うと、センサーが正常に機能しないことがあります。




**レーザーオートフォーカスセンサー**：メインカメラで撮影するときに、レーザーで距離を検出することにより、より速くかつ正確に焦点を当てることができます。

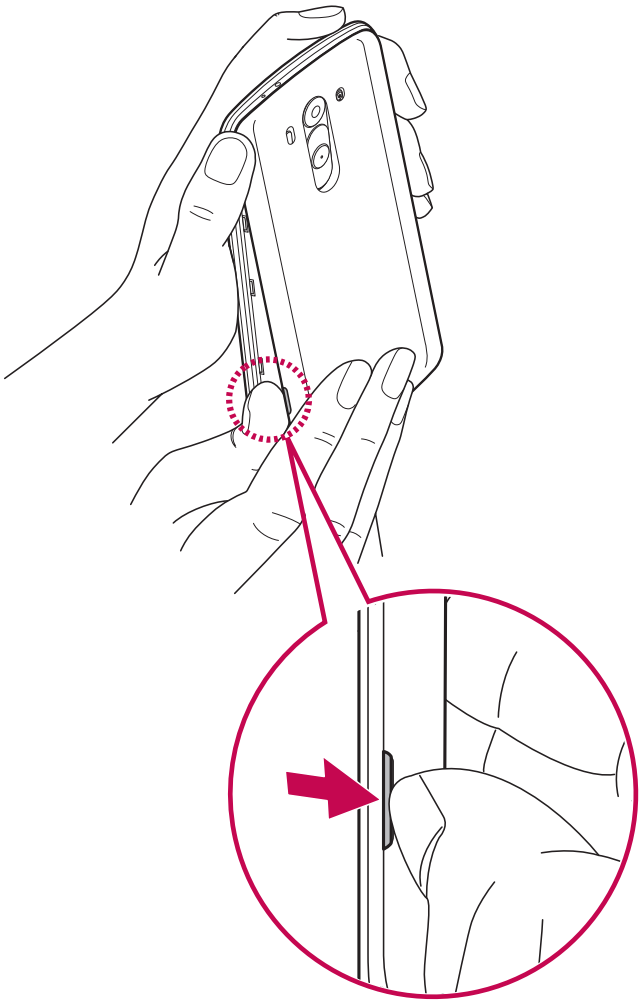
**⚠お知らせ**

本製品のNFCタッチポイントを損傷しないよう、注意してください。NFCタッチポイントはNFCアンテナの一部です。

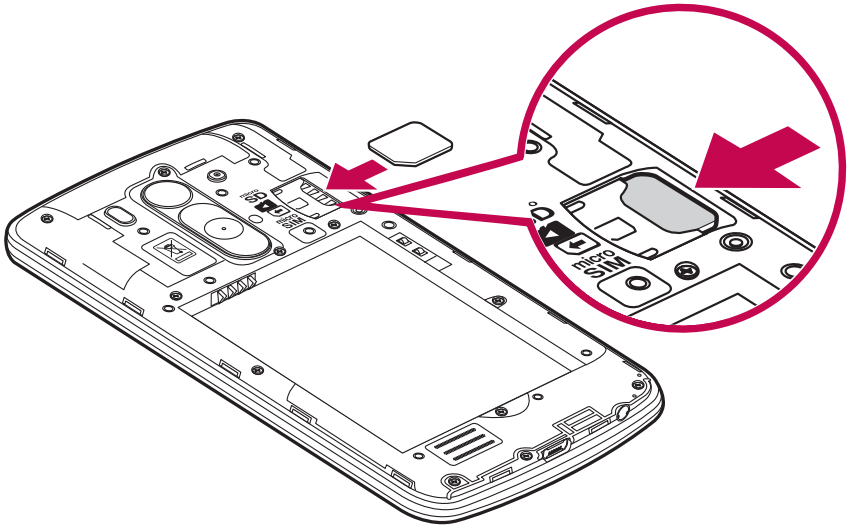
# au Micro IC Card (LTE)および電池パックの取り付け

本製品を使用する前に、本製品をセットアップする必要があります。 au Micro IC Card (LTE)と電池パックを取り付ける方法は、次のとおりです。

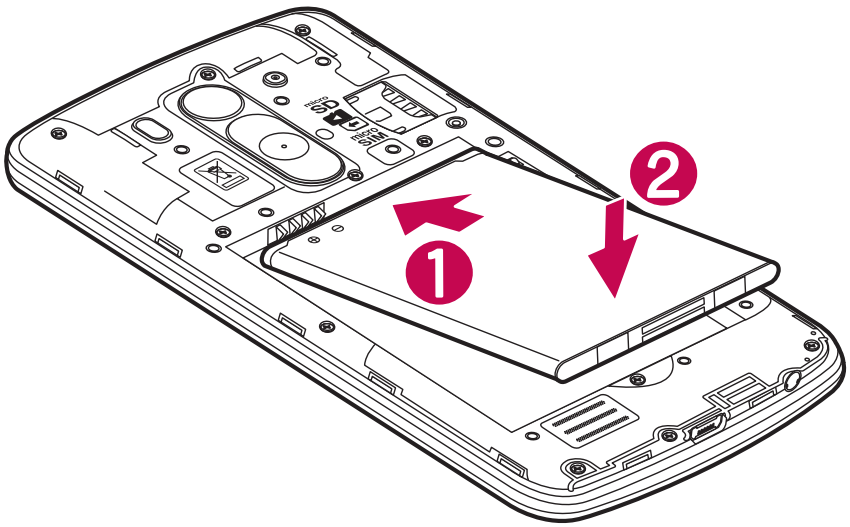
1 背面カバーを取り外すために、本製品を片手でしっかりと保持します。 図に示すように、もう片方の手の親指の爪で背面カバーを引き上げます。



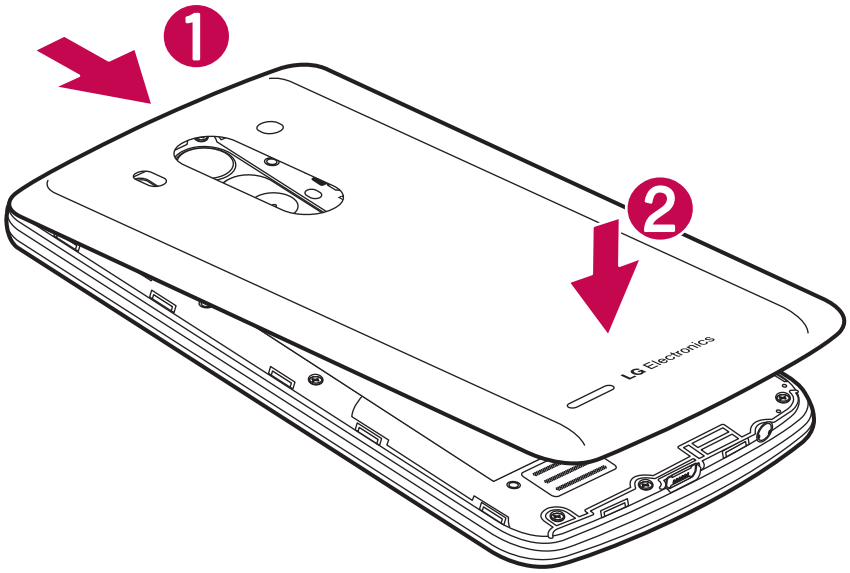
**2** 図に示すように、au Micro IC Card (LTE)をau Micro IC Card (LTE)スロットに差し込みます。 カードの金色の接続部が下を向いていることを確認してください。




**3** 本製品と電池パックの接続端子の位置を合わせて、電池パックを差し込み❶、押し込みます❷。



4 背面カバーのカメラ側の爪をはめ合わせ❶、カチッと音がするまで押し込みます❷。



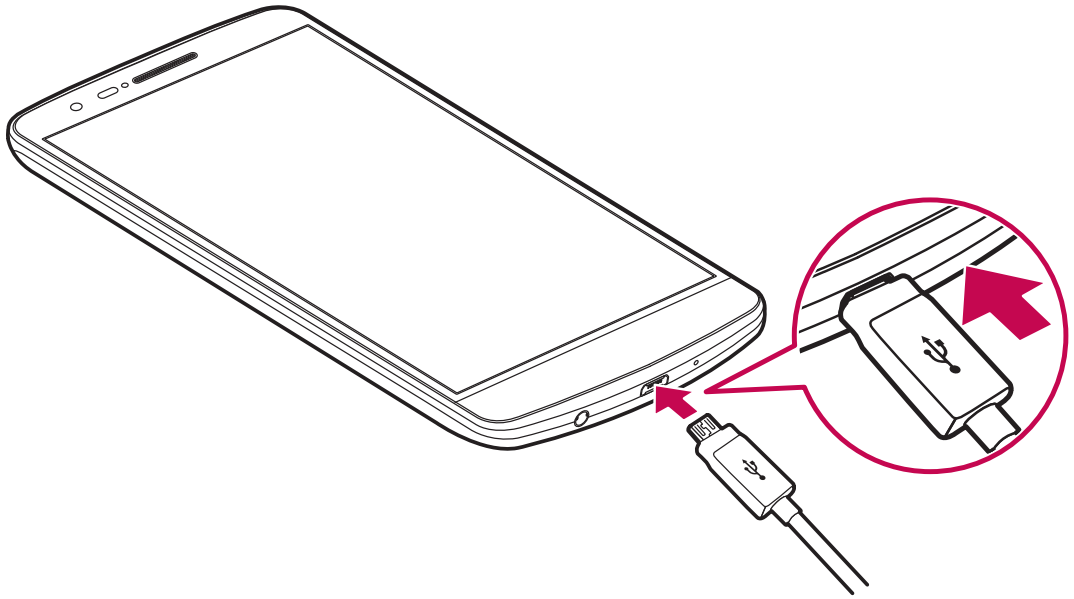

## 本製品の充電

電池パックの充電には、指定のACアダプタ（別売）を使用します。 microUSBケーブルで接続すれば、パソコンを使用して本製品を充電することも可能です。
充電中は通知LEDが赤色に点灯します。充電が完了すると消灯します。

**⚠ お知らせ**
当社指定のACアダプタ(別売)、電池パック、microUSBケーブルのみを使用してください。指定品以外のACアダプタやmicroUSBケーブルを使用すると、充電速度が遅くなったり、低速な充電速度に関するポップアップメッセージが表示されたりする場合があります。また、指定品以外のACアダプタまたはmicroUSBケーブルは本製品の発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となり、保証の対象外となることがあります。

## 指定のACアダプタを使って充電する

microUSB接続ポートは本製品の下部にあります。 指定のACアダプタ（別売）を挿入し、プラグをコンセントに差し込みます。



## パソコンを使って充電する

microUSBケーブルを使用して本製品をパソコンに接続します。

**メモ：**

- バッテリーを長持ちさせるには、最初に電池パックを完全に充電する必要があります。
- 充電中は、本製品の背面カバーを開けないでください。
- パソコンを使って充電しているとき、パソコン上に「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

1 **電源**／**ロックキー**を2秒以上長押しします。
ロック画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

**メモ：**

**初期設定について**

- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。
- 初期設定について詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

## 電源を切る

1 **電源**／**ロックキー**を2秒以上長押しします。
携帯電話オプション画面が表示されます。

2 [**電源を切る**] > [**OK**]の順にタップします。

# microSDカードの使用

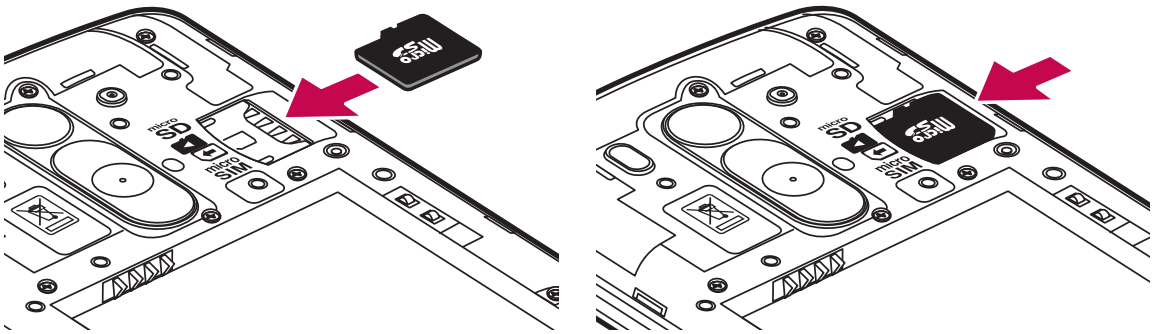
本製品では、最大32GBのmicroSD™またはmicroSDHC™カードを使用することができます。 これらのmicroSDカードは、携帯電話や他の超小型機器向けに特別に設計され、音楽、プログラム、ビデオ、写真などのリッチメディア ファイルを保存して本製品で使用する場合に最適です。

**microSDカードを挿入するには**

microSDカードをスロットに挿入します。金色の接続部が下を向いていることを確認してください。

**microSDカードを安全に取り出すには**

> **[設定]** > **[一般]**タブ > **[ストレージ]** > **[SDカードのマウント解除]**の順にタップします。



**メモ：**

- 本製品と互換性のあるmicroSDカードのみを使用してください。 互換性のないmicroSDカードを使用すると、microSDカードや本製品が損傷したり、microSDカードに保存されているデータが損なわれたりすることがあります。
- 保存や再生することのできる1ファイルの最大サイズは約4GBです。

**⚠ お知らせ**

本製品の電源がオンの状態で、microSDカードを出し入れしないでください。microSDカードを出し入れすると、microSDカードや本製品が損傷したり、microSDカードに保存されているデータが損なわれたりすることがあります。

**microSDカードを初期化するには**

microSDカードは既に初期化されていることがあります。 初期化されていない場合は、使用する前に初期化する必要があります。

**メモ：**初期化するとmicroSDカード上のすべてのファイルが削除されます。

1 ⌂ > **[設定]** > **[一般]**タブ > **[ストレージ]**の順にタップします。
2 **[SDカードのマウント解除]**をタップします。
3 **[SDカードのデータを消去]** > **[SDカードのデータを消去]** > **[実行する]**の順にタップします。
必要に応じてロック解除パターン／PIN／パスワードを入力してから**[実行する]**をタップする場合があります。

**メモ：**microSDカードにコンテンツが保存されている場合、初期化によってすべてのファイルが削除されるため、フォルダー構造が変わることがあります。

# 画面のロックおよびロック解除

本製品をしばらく使用しないと、画面が自動的にオフになりロックされます。 これは、誤ってタップしないようにするためと、バッテリーを節約するためです。

本製品を使用していないときは、**電源／ロックキー** ⬭ を押して本製品をロックします。

画面をロックしたときに実行中のプログラムがあると、設定後も[ロック]モードで実行されている可能性があります。 不要な電力消費を避けるために、[ロック]モードにする前にすべてのプログラムを終了することをお勧めします（例：通話、Webアクセス、データ通信）。

本製品のスリープを解除するには、**電源／ロックキー** ⬭ を押します。 ロック画面が表示されます。 ロック画面をスワイプするとロックが解除され、ロックする前に表示していた画面が開きます。

# ホーム画面

## タッチスクリーンのヒント

本製品を操作する方法について、いくつかのヒントをご紹介します。

**タップまたはタッチ** – 指先で1回タップすると、アイテム、リンク、ショートカット、ソフトウェアキーボードの文字が選択されます。

**長押し** – 画面上のアイテムをタップし、アクションが生じるまで指を放さないようにします。 たとえば、連絡先の使用可能なオプションを表示するには、ショートカットメニューが開くまで、連絡先リストの連絡先にタッチし続けます。

**ドラッグ** – アイテムをタッチしたまま、指を浮かさずに目的の位置まで画面上を移動します。 ホーム画面のアイテムをドラッグして、再配置することができます。

**スワイプまたはスライド** – アイテムにタップしたらすぐに（アイテムをドラッグしないようにするため）、画面の表面を横切るように指をすばやく動かします。 たとえば、リストをスクロールするには、画面を上または下にスライドし、別のデスクトップを参照するには、左から右（およびその逆）にスワイプします。

**ダブルタップ** – ダブルタップすると、Webページや地図がズーム表示されます。 たとえば、Webページのセクションをすばやくダブルタップすると、そのセクションは画面の幅に合わせて調整されます。 また、画像を見ているときにダブルタップすると、ズームインおよびズームアウトできます。

**ピンチによるズーム** – Webページ、地図、または画像の閲覧中に、人差し指と親指でつまんだり広げたりすると、ズームインまたはズームアウトできます。

**画面の回転** – 多くのアプリケーションやメニューで、本製品の物理的な向きに合わせて画面の向きが調整されます。

**メモ：**

- アイテムを選択するには、そのアイコンの中央をタップします。
- タッチスクリーンを強く押しすぎないようにしてください。タッチスクリーンは感度が高いため、軽くタップするだけで感知します。
- 指先を使って希望の選択項目をタップします。 他のキーをタップしないように注意してください。

# ホーム画面

ホーム画面は、多くのアプリケーションや機能を起動する場所であり、アプリケーションショートカットやGoogleのウィジェットなどを追加すれば、情報やアプリケーションに簡単にアクセスできるようになります。 ホーム画面は、 をタップするとどのメニューからでもアクセスできます。

**ステータスバー**
時間、電波強度、バッテリーの状態、通知アイコンなど、本製品のステータス情報を表示します。

**ウィジェット**
ウィジェットは、[アプリ]画面、ホーム画面からアクセスできる、独立したアプリケーションです。 ショートカットとは異なり、ウィジェットはオンスクリーンアプリケーションとして表示されます。

**アプリケーションアイコン**
（アプリケーション、フォルダーなどを）開いて使用するには、そのアイコンをタップします。

**インジケーター**
現在表示しているデスクトップの位置を示します。

**クイックキーエリア**
登録している機能に、任意のデスクトップからワンタッチでアクセスできます。

## デスクトップを切り替える

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されています。デスクトップを追加してショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。

▶ ホーム画面上で指を左右にスライドします。

# ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面は、アプリケーションやウィジェットを追加したり、壁紙を変更したりしてカスタマイズできます。

**ホーム画面にアイテムを追加するには**

1 ホーム画面の何もない場所をタッチし続ける
2 追加モードメニューで、追加するアイテムを選択します。
3 そのアイテムを希望の場所までドラッグします。追加したアイテムがホーム画面に表示されます。

**ヒント：** [アプリ]メニューからホーム画面にアプリケーションアイコンを追加するには、追加するアプリケーションを長押しし、希望の場所までドラッグします。

**ホーム画面からアイテムを削除するには**

▶ ⌂ > 削除するアイコンを長押しする > にドラッグ

**クイックキーとしてアプリケーションを追加するには**

▶ [アプリ]メニューまたはホーム画面で、アプリケーションアイコンをクイックキーエリアにドラッグします。

**クイックキーエリアからアプリケーションを削除するには**

▶ 削除するクイックキーをタッチしたまま、 にドラッグします。

**メモ：** **アプリケーション**キーは削除できません。

**ホーム画面上のアプリケーションアイコンをカスタマイズするには**

1 アプリケーションアイコンを長押しします。 その後、そのままの位置で指を離すと、アプリケーションの右上に編集アイコン が表示されます。
2 アプリケーションアイコンをもう一度タップし、目的のアイコンのデザインとサイズを選択します。
3 **[OK]**をタップして、変更を保存します。

# ホーム画面

**起動中のアプリケーションを一覧表示する**

1 をタップします。 画面に最近使用したアプリケーションのアイコンを含むポップアップが表示されます。

2 アイコンをタップしてアプリケーションを切り替えます。アプリケーションリストで をタップすると前画面に戻ります。

## 通知パネルとステータスバー

通知は、新着メッセージ、カレンダーの予定、アラームだけでなく、通話中などに発生したイベントもお知らせします。

通知が到着すると、そのアイコンが画面最上部に表示されます。 通知アイコンは左に、Wi-Fiやバッテリーの残量などのシステムアイコンは右に表示されます。

**メモ：**利用可能な表示は、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

# 通知パネルを開く

ステータスバーを下にスワイプすると、通知パネルが開きます。

**クイック設定アイコン欄**

クイック設定アイコンをタップすると、その機能のオン/オフが切り替わります。その機能の設定メニューにアクセスするには、アイコンを長押しします。その他のクイック設定アイコンを表示するには、左右にスワイプします。クイック設定アイコンを削除、追加、再配置するには、 をタップします。

**Qスライドアプリ**

Qスライドアプリをタップすると、小さなウィンドウとして画面上に表示されます。Qスライドアプリを削除、追加、再配置するには、 をタップします。

**消去**

タップするとすべての通知がクリアされます。

**通知**

現在の通知が、簡単な説明と一緒に一覧表示されます。通知をタップすると詳細が表示されます。

**閉じるバー**

上方向にスライドすると通知パネルを閉じます。

# ステータスバー上のインジケーターアイコン

インジケーターアイコンは、画面上部のステータスバーに表示され、不在着信、新着メッセージ、カレンダーの予定、本製品の状態などを表示します。

画面上部に表示されるアイコンは、本製品のステータスに関する情報を提供します。 次の表に表示されているのは、ごく一般的なアイコンの一部です。

# ホーム画面

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | au Micro IC Card (LTE)なし |
| | ネットワーク接続なし |
| | 機内モード設定中 |
| | Wi-Fiネットワークに接続中 |
| | 有線ヘッドセットを接続中 |
| | 通話中 |
| | 不在着信あり |
| | Bluetooth機能オン |
| | NFC機能オン |
| | システム警告 |
| | アラーム設定済み |
| | 音楽を再生中 |
| | サイレント（バイブレートなし） |
| | バイブレートのみ |

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | 完全充電済み |
| | 充電中 |
| | microUSBケーブル経由でパソコンに接続中 |
| | データダウンロード中 |
| | データアップロード中 |
| | GPS機能オン |
| | データ同期中 |
| | 新着Gmailメッセージあり |
| | 新着ハングアウトメッセージあり |
| | 入力方法の選択 |
| | Wi-Fi テザリング使用可能 |
| | コンテンツ共有をオン |

**メモ：**ステータスバーのアイコンの位置は、機能やサービスによって変わる場合があります。

# ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボード（テンキーボード／フルキーボード）を使用して、テキストを入力できます。ソフトウェアキーボードは、テキスト入力が必要な画面で自動的に表示されます。また、テキストを入力するテキストフィールドをタップすれば、キーボードを手動で表示できます。

- テンキーボードでは、キーを繰り返しタップするか、上下左右にスワイプすることで、入力したい文字を入力できます。
- フルキーボードでは、入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字」の場合は、ローマ字入力になります。

**キーパッドの使用とテキストの入力**

文字 入力する文字種が切り替わります。長押しすると、各種設定やテンキーボードとフルキーボードの切り替え、入力モードの切り替えなどができます。

記号 タップすると、絵文字／記号／顔文字のキーボードに切り替わります。

変換 タップすると、スペースを入力したり、ひらがな漢字入力時に文字を変換したりします。

タップすると、前の文字が削除されます。

キーを長押しすると、スワイプで入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にキーをスワイプして指を離すと、文字入力エリアに文字が入力されます。

# Googleアカウントのセットアップ

Googleアカウントをセットアップすると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。
ここでは、初めて本製品の電源を入れたときに表示される初期設定画面で、アカウントを設定する方法を説明します。

## Googleアカウントをセットアップするには

- セットアップ画面からGoogleアカウントにログインします。
  **または**
- ⌂ > > **[アプリ]**タブの順にタップして**Gmail**などのGoogleアプリケーションを選択し、**[新しいアカウント]**を選択して新しいアカウントを作成します。

Googleアカウントを持っている場合は、**[既存のアカウント]**をタップし、Eメールアドレスとパスワードを入力して、 をタップします。
本製品でGoogleアカウントをセットアップすると、Web上のGoogleアカウントと自動的に同期します。
Web上のアプリケーションやサービスの連絡先、Gmailのメッセージ、カレンダーの予定、およびその他の情報が、本製品上の情報と同期されます （同期される内容は各自の同期設定によって異なります）。
ログイン後は、Gmailを使用したり、Googleのサービスを活用したりすることができます。

# ネットワークおよび機器への接続

## Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用すると、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスなどの無線アクセスポイントに接続し、Wi-Fi経由のワイヤレス インターネットを利用できます。

### Wi-Fiネットワークへの接続

本製品でWi-Fiを使用するには、家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境のアクセスポイントにアクセスする必要があります。 アクセス ポイントの中にはオープンなものがあり、簡単に接続できます。 一方、隠されているものやセキュリティ機能を使用するものもあります。この場合は、この様なポイントに接続できるように本製品を構成する必要があります。

バッテリーを長持ちさせるためには、使用していないときはWi-Fiをオフにしてください。

### Wi-FiをオンにしてWi-Fiネットワークに接続するには

1 ⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブ > **[Wi-Fi]**の順にタップします。
2 [**Wi-Fi**]スイッチを有効にし、利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンを開始します。
3 [Wi-Fi]メニューをもう一度タップし、範囲内にある接続可能なWi-Fiネットワークのリストを確認します。
   • セキュリティ保護されたネットワークにはロック アイコンが付いています。
4 ネットワークをタップして接続します。
   • ネットワークがセキュリティ保護されている場合は、パスワードその他の認証情報の入力を求めるポップアップが表示されます （詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください）。
5 ステータスバーに、Wi-Fiの状態を示すアイコンが表示されます。

**メモ：**Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。

# Bluetooth

Bluetoothを使用してデータを送受信できます。

**メモ：**
- 当社は、Bluetooth機能を使用して送受信されるデータの損失、傍受、誤使用に関する責任を負いません。
- 適切にセキュリティ保護された信頼できる機器との間でのみデータの共有や受信を行ってください。 機器との間に障害物があると、操作可能な距離が短くなることがあります。
- 一部の機器、特にBluetooth SIGによってテストまたは認定されていない機器は、本製品と互換性がない場合があります。

### BluetoothをオンにしてBluetooth機器とペアリングするには

本製品を接続する前に別の機器とペアリングする必要があります。

1. ⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブの順にタップし、**[Bluetooth]**スイッチを有効にします。
2. **[Bluetooth]**メニューをもう一度タップします。機器を表示するオプションと機器を検索するオプションが表示されます。 ここで**[デバイスの検索]**をタップし、Bluetoothの範囲内にある機器を表示します。
3. ペアリングする機器をリストから選択し、[**ペアリング**]をタップします。ペアリングが正常に終了すると、本製品が相手の機器に接続されます。

**メモ：**一部の機器（特にヘッドセットやハンズフリーのカーキットなど）ではBluetooth PINが0000などに固定されていることがあります。 相手の機器にPINが設定されている場合は、そのPINを入力する必要があります。

### Bluetoothワイヤレス機能を使用したデータの送信

他の多くの携帯電話と同様に、Bluetoothメニューからではなく、対応するアプリケーションを実行して送信します。

1. 連絡先、カレンダーの予定、メディアファイルなどのファイルまたはアイテムを、適切なアプリケーションから選択します。
2. Bluetoothを使用してデータを送信するオプションを選択します。

**メモ：**オプションの選択方法は、データの種類によって異なることがあります。

3 Bluetooth対応機器を検索してペアリングします。

**Bluetooth機能を使用したデータの受信**

1 ⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブの順にタップし、**[Bluetooth]**スイッチを有効にします。
2 もう一度**[Bluetooth]**メニューをタップし、画面上部にあるチェックボックスをオンにして、本製品が他の機器に表示されるようにします。

**メモ：**本製品が表示される時間を選択するには、▭ を長押しする > **[検出可能時間のタイムアウト]**の順にタップします。

3 ファイル転送を通知するポップアップで[**承諾**]をタップし、機器からデータを受信することを確認します。

# モバイルネットワークの共有

本製品のモバイルネットワークをmicroUSBケーブルで1台のパソコンと共有できます（USBテザリング）。 また、本製品をWi-Fiアクセスポイントにすれば、一度に複数の機器とモバイルネットワークを共有できます（Wi-Fiテザリング）。
本製品がデータ接続を共有しているときは、ステータスバーおよび通知パネル（続行中の通知として）にアイコンが表示されます。
サポートされているオペレーティング システムやその他の詳細など、テザリングおよびWi-Fiアクセスポイントに関する最新情報については、http://www.android.com/tetherをご覧ください。

**メモ：**Wi-FiテザリングとBluetoothテザリングは同時に使用することはできません。

**モバイルネットワークをWi-Fiアクセスポイントとして共有するには**

1 ⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブ > **[テザリングとネットワーク]**の順にタップし、**[Wi-Fiテザリング]**スイッチを有効にします。
2 パスワードを入力し、**[保存]**をタップします。

**ヒント：** パソコン上でWindows 7、8、8.1または最近配信されたLinuxの特定の派生モデル（Ubuntuなど）を実行している場合、通常はテザリングのためにパソコンをセットアップする必要はありません。 ただし、以前のバージョンのWindowsやその他のオペレーティングシステムを実行している場合は、USB経由でネットワーク接続を確立するために、パソコンのセットアップが必要な場合があります。 USBテザリングをサポートするオペレーティング システム、およびその設定方法の最新情報については、http://www.android.com/tether にアクセスしてください。

### Wi-Fiアクセスポイントの名前変更またはセキュリティ保護

本製品のWi-Fiネットワーク名（SSID）を変更したり、Wi-Fiネットワークをセキュリティで保護したりできます。

1. ⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブ > **[テザリングとネットワーク]** > **[Wi-Fiテザリング]**の順にタップします。
2. **[Wi-Fiテザリング設定]**をタップします。
   - **[Wi-Fiテザリング設定]**ダイアログボックスが開きます。
   - Wi-Fiネットワークのスキャン時に、他の機器に表示される**Wi-Fiアクセスポイント名**（SSID）を変更できます。
   - [**セキュリティ**]メニューをタップし、「Open」「WPA PSK」「WPA2 PSK」からセキュリティタイプを選択します。
   - 「WPA PSK」「WPA2 PSK」を選択した場合は、パスワードフィールドが追加されます。パスワードを入力すると、パソコンまたはその他の機器から本製品のWi-Fiアクセスポイントに接続する際、パスワードを入力する必要があります。
3. **[保存]**をタップします。

**注意：** セキュリティタイプを「OPEN」に設定すると、第三者により不正に利用される可能性があります。不正利用を防止するために、セキュリティタイプを「WPA PSK」「WPA2 PSK」にしておくことをお勧めします。

# Wi-Fi Direct

Wi-Fi Directは、アクセスポイントを使わない、Wi-Fi対応機器間でのダイレクト接続をサポートします。 Wi-Fi Directはバッテリーの使用量が多いため、Wi-Fi Directの使用中は本製品をACアダプタ（別売）に接続しておくことをお勧めします。

# SmartShare

SmartShare機能は、**ギャラリー**、**音楽**などの各アプリケーションで簡単に使用できます。

**さまざまな機器でコンテンツを楽しむ**

本製品のコンテンツを、さまざまな機器と共有できます。 をタップすると、ギャラリー、音楽のコンテンツを共有します。

**再生/送信**

**Play：**TVやBluetoothスピーカーなどでコンテンツを再生できます。

**Beam：**BluetoothおよびSmartShare Beam対応機器にコンテンツを送信できます。

- **SmartShare Beam：**Wi-Fi Direct経由でコンテンツを高速転送します。

**<Play>**

**<Beam>**

# 近くにある機器のコンテンツを楽しむ

近くにある機器（パソコン、NAS、モバイル電話機など）のコンテンツを、**ギャラリー**、**音楽**の各アプリケーションで楽しめます。

### 機器の接続

本製品や、同じWi-Fiネットワーク内にあるその他のDLNA対応機器を接続できます。

### 他の機器を検索する

1 DLNAデバイスの共有機能をオンにします。
2 **音楽**または**ギャラリー**アプリケーションを起動します。
3 音楽の[**ミュージックライブラリ**]またはギャラリーの[**アルバム**] > [**周辺デバイス**]をタップすると、DLNA対応機器を確認できます。
4 機器に接続すると、コンテンツを表示できます。

# microUSBケーブルでのパソコン接続

USB接続モードで、microUSBケーブルを使用して本製品をパソコンに接続する方法を説明します。

### USB大容量のメディアデバイス(MTP)モードを使用した音楽、写真、ビデオの転送

1 microUSBケーブルを使用して本製品をパソコンに接続します。
これで、パソコンで大容量ストレージの内容を確認して、ファイルを転送できるようになりました。

### Windows Media Playerとの同期

Windows Media Playerがパソコンにインストールされていることを確認します。

1 USBケーブルを使用して、Windows Media Playerがインストールされているパソコンに本製品を接続します。
2 [**メディアデバイス(MTP)**]オプションを選択します。 接続されると、パソコンにポップアップ ウィンドウが表示されます。
3 Windows Media Playerを起動して音楽ファイルを同期します。
4 ポップアップ ウィンドウで本製品の名前を編集または入力します（必要な場合）。
5 目的の音楽ファイルを選択して同期リストにドラッグします。
6 同期を開始します。

• Windows Media Playerと同期するためには、次の要件を満たす必要があります。

| 項目 | 要件 |
| --- | --- |
| OS | Microsoft Windows Vistaまたはそれ以降 |
| Window Media Playerのバージョン | Windows Media Player 10以降 |

# 通話

## 通話

1 ⌂ > の順にタップして、キーパッドを開きます。
2 キーパッドを使用して数字を入力します。 数字を削除するには、 をタップします。
3 発信するには、 をタップします。
4 通話を終了するには、**[終了]**をタップします。

**ヒント：** 国際電話を発信するために「+」を入力するには、[**0**]をタッチし続けます。

## 連絡先への発信

1 ⌂ > の順にタップして、連絡先を開きます。
2 連絡先リストをスクロールするか、**[連絡先を検索]**をタップして発信する連絡先の最初の文字をいくつか入力します。
3 リストの中から、発信する連絡先の をタップします。

## 着信の応答と拒否

ロックされた状態で着信した場合、着信に応答するには、 **[電話に出る]** を任意の方向にスワイプします。
着信を拒否するには、 **[終了]** を任意の方向にスワイプします。
メッセージを送信する場合は、**[応答拒否メッセージ]**を任意の方向にスワイプします。
着信音は、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になります。

**ヒント： 応答拒否メッセージ**
この機能を使用すると、すぐにメッセージを送信できます。 会議中、着信を拒否すると同時にメッセージを伝える必要がある場合に便利です。

# 通話音量の調整

通話中に音量を調整するには、本製品の背面にある音量キーを使用します。

# 三者間通話の発信

1 最初の通話の途中で ⋮ > **[別の通話を追加]**の順にタップし、番号をダイヤルします。 また、［**通話履歴**］タブをタップして最近ダイヤルした番号のリストにアクセスしたり、［**連絡先**］タブをタップして発信する連絡先を検索したりすることもできます。
2 発信するには、 をタップします。
3 両方の通話が、通話画面に表示されます。 最初の通話はロックされ、保留になります。
4 グループ通話をするには、⋮ > **[グループ通話]**の順にタップします。
5 通話中の通話を終了するには、**[終了]**をタップするか、 をタップしてステータスバーを下にスワイプし、**[通話を終了]**を選択します。

**メモ：**
- それぞれの通話に料金が課金されます。

# 通話ログの表示

> の順にタップし、**[通話履歴]**タブを選択します。
発信通話、着信通話、不在着信を含めて、すべての通話のリストが表示されます。

**ヒント：**
- 通話履歴をタップすると、その通話の日時と通話時間が表示されます。
- 記録されている項目をすべて削除するには、⋮ > **[すべて削除]** > [**はい**]の順にタップします。

# 通話設定

着信転送や通信事業者が提供するその他の特殊な機能など、本製品の通話設定を行うことができます。

1 ⌂ > 📞 の順にタップします。
2 ⋮ をタップします。
3 **[通話設定]**をタップして、設定するオプションを選択します。

# 連絡先

本製品に連絡先を追加します。また、これらの連絡先を、Googleアカウントの連絡先や、連絡先の同期をサポートするその他のアカウントの連絡先と同期します。

## 連絡先の検索

1 ⌂ > の順にタップして、連絡先を開きます。
2 **[連絡先を検索]**をタップして、キーボードで連絡先の名前を入力します。

## 新しい連絡先の追加

1 ⌂ > の順にタップし、新しい連絡先の番号を入力して、 をタップします。 **[連絡先に追加]** > **[連絡先を新規登録]**の順にタップします。
2 新しい連絡先に画像を追加する場合は、画像領域をタップします。
**[写真を撮影]**または**[ギャラリーから選択]**を選択します。
3 をタップして、連絡先の種類を選択します。
4 連絡先情報の項目をタップして、連絡先の詳細情報を入力します。
5 **[保存]**をタップします。

## お気に入りの連絡先

よく電話をかける連絡先は、お気に入りに分類できます。

### お気に入りへの連絡先の追加

1 ⌂ > の順にタップして、連絡先を開きます。
2 詳細を表示するには、連絡先をタップします。
3 画面上部にある星をタップします。 星の色が黄色に変わります。

### お気に入りリストからの連絡先の削除

1 ⌂ > の順にタップして、連絡先を開きます。
2 ［**お気に入り**］タブをタップし、詳細を表示する連絡先を選択します。
3 画面上部にある黄色い星をタップします。 星の色が緑色に変わり、連絡先がお気に入りから削除されます。

# グループの作成

1 ⌂ > の順にタップして、連絡先を開きます。
2 **[グループ]**タブをタップし、 をタップします。 **[新しいグループ]**を選択します。
3 新規グループの名前を入力します。 新規作成するグループに着信音を設定することもできます。
4 **[保存]**をタップして、グループを保存します。

**メモ：** グループを削除しても、そのグループに割り当てられた連絡先は消失しません。

# Googleハングアウトを利用する

Googleハングアウトを使用すると、複数の電話機で複数のユーザーに対して、電話をかけたりメッセージを送信したり、ビデオハングアウトしたりすることができます。また、他のユーザーと写真や現在地を共有することもできます。
ここでは、メッセージを送信する方法を主に説明します。

## メッセージの送信

1 ⌂ > > [+]の順にタップすると新しいメッセージ画面が開きます。
2 連絡先名やメールアドレス、連絡先番号を［**名前、メールアドレス、電話番号を入力**］に入力し、表示された受信者をタップします。また、複数の連絡先を追加できます。
3 メッセージの入力欄をタップして、メッセージの作成を開始します。
4 メッセージを送信するには、 をタップします。

## スレッドについて

他のユーザーとの間で送受信したメッセージ（SMS）は、時系列に沿って表示できます。したがって、会話の概要を簡単に確認することができます。

## 設定を変更する

本製品のSMS設定は事前に設定されているため、メッセージをすぐに送信できます。この設定は、必要に応じて変更することができます。

・⌂ > >  > [設定]の順にタップします。

# Eメール

**Eメール** アプリケーションを使用して、Gmailなどのサービスから受信したEメールを読むことができます。**Eメール** アプリケーションは、アカウント タイプとして、POP3、IMAP、およびExchangeをサポートします。
必要なアカウント設定は、サービスプロバイダーまたはシステム管理者から入手できます。

## Eメールアドレスを取得／変更する

**ハングアウト**アプリケーションを利用して@uqmobile.jpアドレスの新規取得、Eメールアドレスの変更ができます。
事前にWi-Fiをオフにし、モバイルデータをオンにしてください。本設定はWi-Fi通信ではご利用いただけません。

1 ⌂ > の順にタップします。
2 [+]をタップします。
新規メッセージの作成画面が表示されます。
3 宛先欄に「**00090010**」、メッセージ欄に「**1234**」を入力して、 ➤ をタップします。
送信後、メッセージが受信されます。
4 受信したメッセージ内のURLをタップします。
5 [**メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送**]をタップして、以降は画面の指示に従って操作してください。

**メモ：**
- ご契約時に設定された4桁の暗証番号が必要です。
- すでに@uqmobile.jpアドレスをお持ちの場合は、Eメールアドレスの取得／変更の必要はありません。お手持ちのEメールアドレスにてEメールの送受信が可能です。
- Eメールアドレス変更後には、変更後のEメールアドレスが記載されたSMSを受信します。

# 電子メール アカウントの管理

**Eメール**アプリケーションを初めて起動すると、Eメールアカウントの設定をサポートする、セットアップウィザードが開きます。

最初のセットアップの後、**Eメール**アプリケーションには、受信ボックスの内容が表示されます。

**別の電子メール アカウントを追加する方法:**

- ⌂ > **[Eメール]** > ⋮ > **[設定]** > **[アカウントを追加]**の順にタップします。

**Eメールアカウントの設定を変更する方法:**

- ⌂ > **[Eメール]** > ⋮ > **[設定]** > **[Eメール設定]**の順にタップします。

**電子メール アカウントを削除する方法:**

- ⌂ > **[Eメール]** > ⋮ > **[設定]**の順にタップします。⋮ > **[アカウントを削除]**の順にタップして削除するアカウントを選択し、**[削除]**をタップして、**[はい]**を選択します。

# アカウント フォルダーの操作

⌂ > **[Eメール]** > ⋮ の順にタップし、**[フォルダー]**を選択します。

各アカウントには、[受信トレイ]、[送信トレイ]、[送信済み]、および[下書き]フォルダーがあります。アカウントのサービスプロバイダーがサポートしている機能によっては、その他のフォルダーがある場合もあります。

# 電子メールの作成と送信

**メッセージの作成と送信の方法**

1. **Eメール**アプリケーションで ✉ をタップします。
2. メッセージの受信者のアドレスを入力します。テキストを入力すると、一致するアドレスが連絡先から提示されます。アドレスが複数ある場合は、セミコロンで区切ります。
3. 必要に応じて、⋮ >[**Cc/Bccを追加**]の順にタップするとCc/Bccを追加することができ、📎 をタップするとファイルを添付することができます。
4. メッセージのテキストを入力します。
5. ➤ をタップします。

**ヒント：** 受信トレイに新しいEメールが届くと、サウンドまたはバイブレートで通知されます。

# カメラ

**カメラ**アプリケーションを起動するには、⌂ > [**カメラ**] の順にタップします。

## ビューファインダーの画面構成

1. **フラッシュ** – フラッシュのオフ/オン/オートを切り替えます。
2. **カメラ切替** – メインカメラとフロントカメラを切り替えます。
3. **撮影モード** – [**オート**]、[**パノラマ**] から選択します。
4. **設定** – このアイコンをタップすると、詳細オプションが開きます。
5. **サムネイル** – タップすると最後に撮影した写真や動画を表示できます。
6. **録画開始ボタン** – 動画録画を開始します。
7. **シャッターボタン** – 写真を撮影します。

**メモ：** 写真を撮影する前に、カメラのレンズが汚れていないか確認してください。

# 詳細設定の使用

ビューファインダーで をタップすると、詳細オプションが表示されます。 リストをスクロールして、カメラの設定を変更できます。 オプションを選択したら、ビューファインダーをタップします。

| | |
|---|---|
| HDR AUTO | HDR撮影をするかどうかを設定します。 |
| W6M | 写真の解像度や動画のビデオサイズを選択します。 |
| | 次の言葉のいずれかを言うと、写真を撮影します：チーズ、スマイル、LG、撮ります。 |
| OFF | セルフタイマーの起動時間を設定します。写真に撮影者自身が入る場合に便利です。 |
| | 撮影画面にガイドを表示するかどうかを設定します。 |
| SD | 撮影したデータの保存先を設定します。 |
| ? | 機能の操作方法を確認するためにヘルプガイドを開きます。 |

**ヒント：** カメラの状態によって表示される項目は異なります。

# 簡単な写真の撮影

1 **カメラ**アプリケーションを起動し、被写体にカメラを向けます。
2 カメラの焦点が被写体に合うと、水色のフォーカスボックスが表示されます。
3 をタップして写真を撮ります。

# 写真の撮影後

ビューファインダーのサムネイルをタップすると、最後に撮った写真が表示されます。

| | |
|---|---|
| | タップすると、写真を編集できます。 |
| | タップすると、すぐに別の写真を撮影します。 |
| | タップすると、他の人に写真を送信したり、ソーシャルネットワークサービス（SNS)を介して共有したりすることができます。 |
| | タップすると、写真を削除します。 |

**ヒント：** SNSアカウントを持っていて、本製品にアカウントを設定している場合、SNSコミュニティと写真を共有できます。

をタップすると、すべての詳細オプションが表示されます。

**SmartShare** – SmartShare機能を使用して写真を共有します。
**画像を設定** – その写真を、**ロック画面の背景**、**壁紙**、**連絡先の写真**として設定します。
**移動** – その写真を他の場所に移動します。
**コピー** – 選択した写真をコピーして他のアルバムに保存します。
**クリップボードにコピー** – 写真をコピーしてクリップボードに保管します。
**スライドショー** – 現在のフォルダー内にある写真を自動的に次々と表示します。
**左に回転する/右に回転する** – 左または右に回転します。
**トリミング** – 写真のクロッピングを実行します。 指を画面上で動かし、トリミングする領域を選択します。
**位置情報を追加** – 場所の情報を追加します。
**リネーム** – 選択した写真の名前を編集します。
**印刷** – 写真を印刷します。
**ファイル情報** – ファイルの詳細情報を参照します。

# ジェスチャーショットで撮影する

フロントカメラに向かって手を握る動作をすることで、簡単に自分撮りができます。

1 **カメラ**アプリケーションを起動します。
2 フロントカメラに切り替えます。
3 フロントカメラに向かって手のひらを向けます。
4 水色の枠が表示されたら、手を握ります。
5 セルフタイマーが起動して、写真が撮影されます。

# パノラマ写真を撮影する

1 **カメラ**アプリケーションを起動します。
2 ［**モード**］＞［**パノラマ**］の順にタップします。
3 をタップします。
4 パノラマ撮影が開始されます。
5 白色の枠を水色の枠に合わせるように、矢印の方向にカメラを動かします。
6 すべての撮影領域が満たされる、または撮影中に ／ をタップして撮影を停止すると、撮影したデータが自動的に保存されます。

# 簡単なビデオの録画

1 **カメラ**アプリケーションを起動し、被写体にカメラを向けます。
2 録画を開始するには、 を一度タップします。
3 ビューファインダーの上部に動画の撮影時間を示すタイマーが表示されます。
4 録画を停止するには、画面上の をタップします。

**ヒント：**

– タップすると、動画の録画中に画像をキャプチャします。

– タップすると、動画の録画が一時停止します。

# ビデオの録画後

ビューファインダーのサムネイルをタップすると、最後に撮った動画が表示されます。

| | |
|---|---|
| | タップすると、すぐに別の動画を撮影します。 |
| | タップすると、他の人に動画を送信したり、ソーシャルネットワークサービス（SNS)を介して共有したりすることができます。 |
| | タップすると、動画を削除します。 |

# ゲストモード

お客様のプライバシーを保護したり、一部のアプリケーションの使用を制限したりするには、ゲストモードを使用します。
本製品を他の人に貸す場合は、表示するアプリケーションを制限できます。
事前に[ゲストモード]に設定し、オプションをカスタマイズしておきます。

**メモ：**ゲストモードを使用するには、画面のロックを設定する必要があります。

1 ⌂ > **[設定]** > **[一般]**タブ > **[ゲストモード]** > **[完了]** の順にタップします。
2 [**ゲストモード**]の をタップして、ゲストモードを有効にします。

# ノックコード

画面がオフのときに正しいエリアを正しい順序でタップすると、画面をロック解除できます。

**ノックコード機能を有効にするには**

1 ⌂ > **[設定]** > **[表示]**タブ > **[画面のロック]** > **[画面ロックを選択]** > **[ノックコード]**の順にタップします。
2 ノックコードの説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。また、設定したノックコードを忘れたときの安全対策として、バックアップPINを作成する必要があります。

# ノックオン

画面をダブルタップすると、画面のオン/オフを切り替えられます。
画面がオフになっている場合、画面の中央をすばやくダブルタップすると、画面がオンになります。 画面をオフにするには、各画面のステータスバー（カメラのビューファインダー以外の場所）またはホーム画面の何もない場所をダブルタップします。

**メモ：**画面をオンにするときは、近接センサーを覆わないようにしてください。
近接センサーを覆うと、画面の中央をダブルタップしても画面がオンにならなくなります。これは、ポケットやバッグの中で誤って電源が入らないようにするためです。

# Qメモ+

メモを作成したり、スクリーンショットを撮ったりすることができます。撮影した画面に書き込みをして、家族や友達と共有しましょう。

1 ステータスバーを下にスワイプし、［**Qメモ+**］をタップします。
2 Qメモ+オプションを選択して、メモを作成します。
3 をタップし、メモを現在の画面とともに保存します。 をタップすれば、いつでも**Qメモ+**を終了できます。

**メモ：Qメモ+**を使用するときは、指先で操作してください。 爪を使わないようにしてください。

## Qメモ+オプションの使用

次のQメモ+オプションを使用できます。

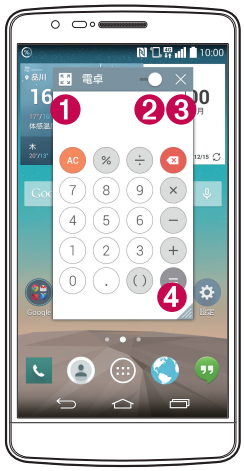
| | |
|---|---|
| | タップすると、現在の**Qメモ+**が画面上にテキストオーバーレイとして保持され、引き続き本製品で使用することができます。 |
| | 操作を元に戻すか、やり直します。 |
| | 文字を入力します。 |
| | ペンの種類とカラーを選択します。 |
| | 作成したメモを消去します。 |
| | 現在の画面と一緒に、メモを**Qメモ+**または**ギャラリー**に保存します。 |

## 保存したメモの表示

**[Qメモ+]**、**[ギャラリー]**をタップして、Qメモ+アルバムを選択します。

# Qスライド

任意の画面から、**カレンダー**や**電卓**などをウィンドウとして、画面内に表示できます。




| | | |
|---|---|---|
| ❶ | | タップすると、全画面表示に戻る |
| ❷ | | タップすると、透明度が調整される |
| ❸ | | タップすると、**Qスライド**が終了する |
| ❹ | | タップすると、サイズが調整される |

1 ステータスバーを下にスワイプし、**Qスライド**アプリケーションをタップするか、**Qスライド**に対応しているアプリケーションを使用しているときに をタップします。 この機能は、小さなウィンドウとして画面に継続的に表示されます。

2 電話の発信、Webの閲覧、その他の携帯電話オプションの選択をすることができます。 透明度のバーがフル状態 でない場合は、小さなウィンドウの下にある画面を使用したり、タップしたりすることもできます。

**メモ：**Qスライド機能は、同時に最大2つのウィンドウ表示をサポートしています。

# Qリモート

**Qリモート**は、本製品を自宅のTV、DVD、ブルーレイなどの機器のユニバーサルリモコンとして使用できる機能です。

1 ステータスバーを下にスワイプし、［**Qリモート**］ > **[リモコンを追加]**の順にタップします。

**または**

ホーム > アプリ > **[アプリ]**タブ > **[Qリモート]** > ［+］の順にタップします。

2 機器の種類とメーカーを選択したら、画面に表示される指示に従って機器を設定します。

3 ステータスバーを下にスワイプし、Qリモート機能を使用します。

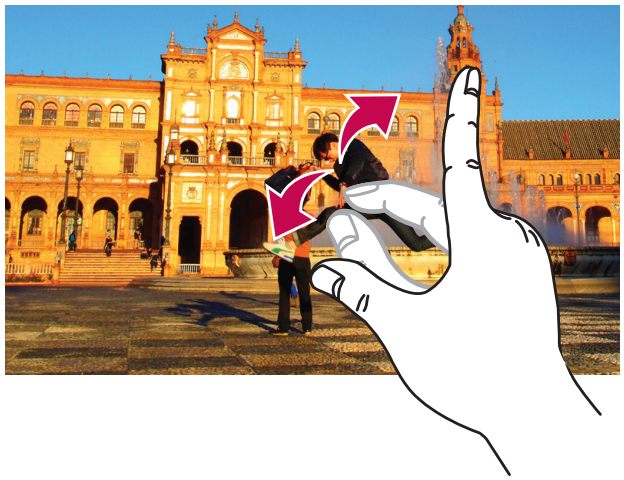
**メモ：Qリモート**は、通常のリモート制御赤外線（IR）信号と同じ方法で機能します。 Qリモート機能を使用する場合は、本製品上部の赤外線センサーを覆わないよう注意してください。 モデル、製造元、またはサービス会社によっては、この機能がサポートされない場合があります。

# ライブズームを利用する

動画を再生中にタッチスクリーンの任意の場所で2本の指を広げると、ズームインします。指をつまむとズームアウトされ、ダブルタップすると戻ります。

**メモ：**

- 動画を再生中にタッチスクリーンの左側を上下にスワイプすると、画面の明るさを調整できます。
- 動画を再生中にタッチスクリーンの右側を上下にスワイプすると、動画の音量を調節できます。
- 動画を再生中にタッチスクリーンを左右にスワイプすると、動画を早戻し／早送りできます。



# マルチメディア

## ギャラリー

**ギャラリー**アプリケーションを起動すると、写真のアルバムや動画を表示できます。

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[ギャラリー]**の順にタップします。
**ギャラリー**では、すべての画像と動画を管理、共有することができます。

**メモ：**
- 本製品にインストールされているソフトウェアによっては、サポートされていないファイル形式があります。
- エンコードの種類によっては、ファイルが適切に再生されない場合があります。

### 画像の表示

**ギャラリー**を起動すると、利用可能なフォルダーが表示されます。 **Eメール**など、他のアプリケーションで画像を保存するときは、画像を格納するためにダウンロードフォルダーが自動的に作成されます。 同様に、スクリーンショットをキャプチャすると、Screenshots フォルダーが自動的に作成されます。 フォルダーを選択して開きます。

フォルダー内で、画像は作成日順に表示されます。全画面表示にするには、画像を選択します。 前後の画像を表示するには、左または右にスクロールします。

**ズーム インとズーム アウト**

ズーム イン（拡大）またはズーム アウト（縮小）するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ズームインするには、任意の場所をダブルタップします。
- 任意の場所で2本の指を広げると、ズームインします。 指をつまむとズームアウトされ、ダブルタップすると戻ります。

### ビデオの再生

プレビューで、ビデオファイルには ▶ アイコンが表示されます。 視聴する動画を選択し、▶ をタップします。 **動画**アプリケーションが起動します。

## 写真の編集

写真を編集する場合は、 をタップします。

## 写真/動画の削除

次のいずれかを実行します。

- フォルダーで をタップし、写真/動画をチェックして、**[削除]** ＞［**はい**］の順にタップします。
- 写真を表示しているときは、 ＞［**はい**］の順にタップします。

## 壁紙として設定

写真を表示しているときに ＞ **[画像を設定]**の順にタップすると、その画像を壁紙に設定したり、連絡先に割り当てたりすることができます。

**メモ：**

- 本製品のソフトウェアによっては、サポートされていないファイル形式があります。
- ファイルサイズが使用可能なメモリ量を超えている場合、ファイルを開くときにエラーが発生することがあります。

# 音楽

本製品には、ミュージックプレイヤーが搭載されており、お気に入りの音楽を再生できます。 ミュージックプレイヤーにアクセスするには、 > > **[アプリ]**タブ > **[音楽]**の順にタップします。

## 曲の再生

1 > > **[アプリ]**タブ > **[音楽]**の順にタップします。
2 **[曲]**タブをタップします。
3 再生する曲を選択します。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | / | 再生を一時停止/再開します。 |
| 2 | | アルバム、プレイリスト、またはシャッフルの曲順で、次の曲にスキップします。 長押しすると早送りします。 |
| 3 | | 再生中の曲を最初から再生するか、アルバム、プレイリスト、またはシャッフルの曲順で、前の曲にスキップします。 長押しすると早戻しします。 |

| | | |
|---|---|---|
| ❹ | | タップすると音量スライドバーが表示されます。このスライドバーで再生音量を調節します。 |
| ❺ | | オーディオエフェクトを設定します。 |
| ❻ | | 現在のプレイリストをシャッフルモードで再生します（ランダムな曲順で再生されます）。 |
| ❼ | | [**リピート（全曲）**]、[**リピート（1曲）**]、[**リピートOFF**]のリピートモードを切り替えます。 |
| ❽ | | SmartShare機能を介して音楽を共有します。 |
| ❾ | | 曲をお気に入りに追加します。 |
| ❿ | | 現在のプレイリストを開きます。 |
| ⓫ | | タップすると［**検索**］、［**プレイリストに追加**］、［**削除**］、［**共有**］、［**着信音として設定する**］、［**ミュージックビデオ**］、［**詳細情報**］、［**設定**］、［**ヘルプ**］を利用できます。 |

音楽の再生中に音量を調節するには、本製品の背面にある音量キーを押します。
リスト内の任意の曲を長押しすると、オプションとして**[再生]**、**[プレイリストに追加]**、**[削除]**、**[共有]**、**[着信音として設定する]**、**[詳細情報]**、**[検索]**が表示されます。

## 本製品に音楽ファイルを追加

次の方法で音楽ファイルを本製品に転送します。

- メディアデバイス(MTP)を使用して音楽を転送。
- ワイヤレスでWebからダウンロード。
- 本製品とパソコンを同期。
- Bluetoothを介してファイルを受信。

## メディアデバイス(MTP)を使用して音楽を転送

1 microUSBケーブルを使用して、本製品をパソコンに接続します。

2 ステータスバーを下にスワイプし、**[充電モード]**／**[メディアデバイス（MTP）]**／**[画像送信（PTP）]**をタップして、**[メディアデバイス(MTP)]**を選択します。 パソコンの新しいハードドライブとして、本製品が表示されます。本製品のドライブをクリックしてフォルダーを開き、パソコンから音楽ファイルをコピーします。

**メモ：**

- 本製品のソフトウェアによっては、サポートされていないファイル形式があります。
- ファイルサイズが使用可能なメモリ量を超えている場合、ファイルを開くときにエラーが発生することがあります。
- 音楽ファイルの著作権は、国際条約と各国の著作権法によって保護されていることがあります。 したがって、音楽の再生またはコピーの際に、許可やライセンスの取得が必要になる場合があります。 一部の国では、著作権がある作品の個人的なコピーが国内法により禁止されています。 このような作品の利用に関しては、ファイルをダウンロードまたはコピーする前に、関係各国の法律を確認するようにしてください。

# ユーティリティ

## アラームの設定

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[時計]** > ［+］の順にタップします。
2 **[繰り返し]**、**[スヌーズ間隔]**、**[バイブレート]**、**[アラーム音]**、**[アラーム音量]**、**[アプリ自動起動]**、**[パズルロック]**、**[メモ]**を設定します。
3 **[保存]**をタップします。

**メモ：**アラーム一覧画面でアラーム設定を変更するには、⋮ をタップし、**[設定]**を選択します。

## 電卓の使用

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[電卓]**の順にタップします。
2 数字キーをタップして数字を入力します。
3 単純な計算の場合は、実行する演算（[+]、[−]、[x]、または[÷]）をタップし、続けて[=]をタップします。
4 複雑な計算の場合は、⋮ をタップし、**[関数電卓]** を選択して、[sin]、[cos]、[tan]、[log]などを選択します。
5 履歴を確認するには、⋮ をタップし、**[計算履歴]**を選択します。

## カレンダーへの予定の追加

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[カレンダー]**の順にタップします。
2 画面上には、さまざまな表示タイプのカレンダー（[日]、[週]、[月]、[年]、[予定リスト]）があります。
3 イベントを追加する日をタップし、［+］をタップします。
4 **[イベント名]**をタップし、イベント名を入力します。
5 **[場所]**をタップし、場所を入力します。 日付を確認して、イベントの開始時刻と終了時刻を入力します。
6 アラームを繰り返す場合は、[**繰り返し**]を設定し、必要に応じて [**通知**]を設定します。
7 [**保存**]をタップし、**カレンダー**に予定を保存します。

# ユーティリティ

## ボイスレコーダー

音声のメモやその他のオーディオ ファイルを録音するには、**ボイスレコーダー**を使用します。

### 音または音声の録音

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[ボイスレコーダー]**の順にタップします。
2 録音を開始するには、● をタップします。
3 録音を終了するには、■ をタップします。
4 ▶ をタップすると、録音を聴くことができます。

**メモ：**録音一覧にアクセスするには ≡ をタップします。 保存された録音を聴くことができます。 録音可能時間は、実際の録音時間と異なる場合があります。

## タスク

タスクは、MS Exchangeアカウントと同期させることができます。 タスクの作成、変更、削除は、MS OutlookまたはMS Office Outlook Web Accessで行えます。

**MS Exchangeと同期するには**

1 ⌂ > **[設定]**の順にタップします。
2 **[一般]**タブ > **[アカウントと同期]** > **[アカウントを追加]**の順にタップします。
3 **[Microsoft Exchange]**をタップし、Eメールアドレスとパスワードを作成します。
4 [**タスク**]のチェックマークがオンになっているかどうかを確認します。

**メモ：**Eメールサーバーによっては、MS Exchangeをサポートしていない場合があります。

# ThinkFree Viewer

**ThinkFree Viewer**は、プロフェッショナルなモバイルオフィスソリューションです。ユーザーは本製品を使用して、Word、Excel、PowerPointファイルなど、さまざまな種類のオフィスドキュメントをいつでもどこでも簡単に表示できます。

ホーム > アプリ > **[アプリ]**タブ > **[ThinkFree Viewer]**の順にタップします。

**ファイルの表示**

本製品で、Microsoft OfficeドキュメントやAdobe PDFなど、さまざまな種類のファイルを簡単に表示できます。 **ThinkFree Viewer**を使用してドキュメントを表示する場合、元のドキュメントと同じようなオブジェクトとレイアウトが維持されます。

# Google+

**Google+**アプリケーションを使用すると、Googleのソーシャルネットワークサービスを通じて人々とつながることができます。

- ホーム > アプリ > **[アプリ]**タブ > **[Google]** > **[Google+]**の順にタップします。

**メモ：** 地域やサービスプロバイダーによっては、**Google+**アプリケーションは利用できない場合があります。

# ユーティリティ

## 音声検索

**音声検索**アプリケーションを使用すると、音声でWebページを検索できます。

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[Google]** > **[音声検索]**の順にタップします。
2 画面に[**お話しください**]が表示されたら、キーワードかフレーズを話します。 表示されたキーワード候補の1つを選択します。

**メモ：** 地域やサービスプロバイダーによっては、**音声検索**アプリケーションは利用できない場合があります。

## ダウンロード

**ダウンロード**アプリケーションを使用すると、これまでにどのようなファイルがダウンロードされたかを確認できます。

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[ダウンロード]**の順にタップします。

**メモ：** 地域やサービスプロバイダーによっては、**ダウンロード**アプリケーションは利用できない場合があります。

## LG SmartWorld

LG SmartWorldには、フォント、テーマ、ゲーム、アプリケーションなど、楽しいコンテンツが多数揃っています。

### 本製品からLG SmartWorldにアクセスする方法

1 ⌂ > ⊞ > **[アプリ]**タブ > **[SmartWorld]** の順にタップします。
2 画面の左上にある［**LG smartWorld™**］ > ［**ログイン**］の順にタップし、LG SmartWorldのID/パスワードを入力して、［**ログイン**］をタップします。 まだ会員登録していない場合は、[**登録**]をタップし、LG SmartWorldの会員登録を行います。
3 希望するコンテンツをダウンロードします。

**メモ：[SmartWorld]が表示されない場合**

1 モバイルWebブラウザーを使用して、LG SmartWorld（www.lgworld.com）にアクセスし、アプリケーションを選択して、国を選択します。
2 LG SmartWorldアプリケーションをダウンロードします。
3 ダウンロードしたファイルを実行してインストールします。
4 [**SmartWorld**]をタップして、LG SmartWorldにアクセスします。

**LG SmartWorldのみの特典**

1 独自のスタイルでスマートフォンをデコレーションできます。LG SmartWorldで提供されているホームテーマ、フォントを使用できます（ご利用いただけるかどうかについては、LG SmartWorld Webサイトを確認してください）。
2 常時提供されているプロモーションに参加して、LG SmartWorldの特別なサービスをお楽しみください。

# Web

## インターネット

**インターネット**アプリケーションを使用すると、Webページを閲覧することができます。 **インターネット**を使用すると、携帯電話でゲーム、音楽、ニュース、スポーツ、エンターテイメントなどの世界を、どこで何を楽しむとしても、スピーディにフルカラーで楽しむことができます。

**1** ⌂ > の順にタップします。

### Webツールバーの使用

指先で画面を下方向にスライドして開きます。

| | |
|---|---|
| | 1ページ戻ります。 |
| | 現在のページの後に接続したページに1ページ進みます。 前のページに戻る ⮌ をタップした場合とは逆の操作が実行されます。 |
| | ホーム ページに移動します。 |
| | 新しいウィンドウを追加します。 |
| | ブックマークにアクセスします。 |

### Webページの参照

アドレスバーをタップし、Webアドレスを入力して、**[実行]**をタップします。

### ページを開く

新しいページに移動するには、1 > [+] の順にタップします。

別のWebページに移動するには、2 をタップし、上下にスクロールして、ページをタップして選択します。

## ブックマーク

現在のWebページをブックマークするには、 > **[ブックマークに追加]** > **[OK]**の順にタップします。
ブックマークしたWebページを開くには、 をタップして1つを選択します。

## 閲覧履歴

> **[閲覧履歴]**タブの順にタップすると、最近アクセスしたWebページの一覧からWebページを開くことができます。 履歴を消去するには、 > [**はい**]の順にタップします。

# Chrome

**Chrome**を使用して、情報を検索したり、Webページを参照したりできます。

1 > > **[アプリ]**タブ > **[Chrome]**の順にタップします。

## Webページの参照

アドレスバーをタップし、Webアドレスまたは検索条件を入力します。

## ページを開く

新しいページに移動するには、 > **[新しいタブ]**の順にタップします。
別のWebページに移動するには、 をタップし、上下にスクロールして、ページをタップして選択します。

## 他の電話機との同期

同じGoogleアカウントでログインしているときに他の電話機上の**Chrome**を使用するためには、開いているタブとブックマークを同期します。
他の電話機上で開いているタブを表示するには、 > [**設定**] > アカウントを選択 > [**同期**]の順にタップし、[**OFF**]をタップして[**ON**]にします。開くWebページを選択します。
ブックマークを追加するには、 >☆ > [**保存**]の順にタップします。

# 設定

本章では、本製品の[システム設定]メニューを使って変更できる項目の概要を説明します。

**[設定メニュー]にアクセスするには**

⌂ > **[設定]**の順にタップします。

または

⌂ をタップし、▭ を長押しして、**[システム設定]**をタップします。

## ネットワーク

**< Wi-Fi >**

**Wi-Fi** – Wi-Fiをオンにすると、利用可能なWi-Fiネットワークに接続します。

**ヒント: MACアドレスの取得方法**

MACフィルターがある一部のワイヤレスネットワークで接続を設定するには、本製品のMACアドレスをルーターに入力することが必要な場合があります。

MACアドレスは、次の操作方法で確認できます:⌂ > **[設定]** > **[ネットワーク]**タブ > **[Wi-Fi]** > ⋮ > **[Wi-Fiの詳細設定]** > **[MACアドレス]**の順にタップします。

**< Bluetooth >**

Bluetooth機能をオン/オフに切り替えます。

**< モバイルデータ >**

データ使用量が表示され、モバイルデータの使用制限を設定します。

**< 通話設定 >**

通話の転送や通信事業者が提供するその他の特殊な機能など、本製品の通話設定を行います。

**留守番電話** – 通信事業者の留守番電話サービスを選択できます。

**音声着信のポップアップ** – カメラやビデオを使用しているときに、音声着信のポップアップが表示されます。

**着信拒否** – 着信拒否機能を設定できます。 設定は、**[着信拒否モード]**または**[着信拒否条件]**から選択します。

**応答拒否メッセージ** – 着信を拒否したい場合に、この機能を使用して短いメッセージを送信できます。 会議中、着信の拒否が必要な場合に便利です。

**着信転送** – 話し中、無応答、圏外の場合に、着信を転送するかどうかを選択します。

**プライバシーキーパー** – 画面ロック中の着信時の発信者名と電話番号を非表示にします。
**割込通話サービス** – 通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。
**割込通話サービス開始** – サービスを開始します。
**割込通話サービス停止** – サービスを停止します。
**録音ボタン** – 通話中に録音ボタンを表示するかどうかを設定します。
**連絡先未登録番号追加** – 通話後に連絡先未登録番号を連絡先に追加します。
**電源キーで通話を終了する** – 通話終了を選択できます。
**伝言メモ** – 電話に出られないときに、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。
**伝言メモ** – 伝言メモを有効にします。
**応答メッセージ** – 応答メッセージを日本語または英語に切り替えたり、録音した音声を設定できます。
**伝言メモを再生する** – 保存した伝言メモを再生します。
**ガイドの言語を変更する** – 各サービスの操作ガイダンスなどを日本語または英語に切り替えます。
**英語ガイダンス** – ガイダンスを英語に変更します。
**日本語ガイダンス** – ガイダンスを日本語に変更します。
**通話時間** – 前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。

**< 共有と接続 >**

**NFC** – 本製品は、NFC対応の携帯電話です。 NFC（Near Field Communication）は、電子機器間の双方向通信を可能にする無線接続技術です。 本技術は、数センチ内の距離で通信できます。 本製品でNFCタグや他のNFC対応の電話機に触れるだけで、コンテンツを共有できます。 本製品でNFCタグに触れると、タグのコンテンツが本製品に表示されます。

**NFCをオンまたはオフにするには：**ホーム画面で、ステータスバーを下にスワイプし、[**R/W P2P**]を選択してオンまたはオフにします。

**メモ：**機内モードが有効なときにも、NFCは使用できます。

**NFCを使用するには：**本製品の電源がオンになっていることを確認し、NFC設定が無効になっている場合は有効にします。

**Android Beam** – オンにすると、電話機同士を近付けるだけで、アプリケーションコンテンツを別のNFC対応電話機にビーム送信できます。
電話機を近付けて（通常は背中合わせ）、画面をタッチすると送信できます。
**SmartShare Beam** – オンにすると、SmartShare Beamを介して、LGの携帯電話やタブレットからマルチメディアコンテンツを受信できます。
**メディアサーバー** – DLNAを使用して周辺デバイスとメディアコンテンツを共有します。
**LG PC Suite** – LG PC Suiteと本製品を接続すると、マルチメディアコンテンツおよびアプリケーションを簡単に管理することができます。

**< テザリングとネットワーク >**
**USBテザリング** – 本製品とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。
**Wi-Fiテザリング** – 本製品を使って、モバイルブロードバンド接続を提供することもできます。 テザリングを作成し、接続を共有します。 詳しくは、**「モバイルネットワークの共有」**を参照してください。
**Bluetoothテザリング** – 本製品でインターネット接続を共有するかどうかを設定できます。
**ヘルプ** – タップすると、Wi-FiテザリングおよびBluetoothテザリング機能に関するヘルプ情報が表示されます。
**機内モード** – 機内モードに切り替えると、すべてのワイヤレス接続が無効になります。

**メモ：**認証情報ストレージを使用する前に、ロック画面のPINまたはパスワードを設定する必要があります。

**モバイルネットワーク** – データローミング、ネットワークモード/通信事業者、アクセスポイント名（APN）などのオプションを設定します。
**VPN** – 以前構成したVPN（Virtual Private Networks）のリストを表示します。 別の種類のVPNを追加できます。

# サウンド

**サウンドプロフィール** – [**サウンド**]、[**バイブレートのみ**]、または[**サイレント**]を選択します。

**ボリューム** – ニーズや環境に合わせて、本製品の音量設定を調節します。

**サウンド中断時間** – サウンド中断時間を設定します。

**サウンドプロフィール** – [**サイレント**]、[**バイブレートのみ**]を選択します。

**設定時間** – サウンド中断時間を利用する時間を設定できます。

**通知LED OFF** – 通知LEDを点灯しないように設定できます。

**アラームOFF** – アラームを鳴動しないように設定できます。

**着信OFF** – 着信音が鳴らないように設定できます。

**着信設定**

**繰り返し着信の許可** – チェックマークをオンにすると、3分以内に繰り返される着信を許可します。

**許可された連絡先リスト** – 着信を許可する連絡先を指定します。

**ヘルプ** – タップすると、サウンド中断モードに関するヘルプ情報が表示されます。

**着信音** – 通話の着信音を設定します。 画面の右上にある［+］をタップして着信音を追加することもできます。

**通知音** – 通知音を設定できます。 画面の右上にある［+］をタップして通知音を追加することもできます。

**着信音とバイブレート** – チェックマークをオンにすると、着信時の着信音に加えて振動するように設定できます。

**振動タイプ** – 音声着信時の振動パターンを設定します。また、振動パターンを追加することもできます。

**タップ時のバイブレート** – ホームタッチボタン操作時などに振動させるかどうかを設定します。

**サウンドエフェクト** – ダイヤルパッドやメニュー選択、画面ロック操作などの操作で音を鳴らすかどうかを設定します。

**音声通知** – スイッチをタップすると、オン/オフが切り替わります。オンにすると、着信およびメッセージイベントを自動的に読み上げます。

# 表示

**< ホームスクリーン >**

**[ホーム選択]、[テーマ]、[壁紙]、[スクリーン効果]、[ホーム画面のループを許可する]、[設定のバックアップとリストア]、[ヘルプ]**を設定します。

**< 画面のロック >**

**画面ロックを選択** – 本製品のセキュリティを保護する画面ロックの種類を設定します。ディスプレイのロック解除パターンの設定手順を示す画面が開きます。設定は、**[なし]、[スワイプ]、[フェイスアンロック]、[ノックコード]、[パターン]、[PIN]**、または**[パスワード]**から選択します。

パターンロックを有効にしている場合、本製品の電源を入れたり、画面がスリープモードから復帰したりすると、画面のロックを解除するためにロック解除パターンを描くよう要求されます。

**スワイプエフェクト** – 画面のスワイプエフェクトオプションを設定します。 設定は、**［光の粒子］、［ベクターサークル］、［モザイク］、［ソーダ］**から選択します。

**メモ：**画面ロックが[パターン]に設定されている場合、画面のスワイプエフェクトがパターン効果になります。

**壁紙** – ロック画面の壁紙を設定します。 **ギャラリー**または**壁紙ギャラリー**から選択します。

**ウィジェット** – ロック画面にウィジェットを表示するかどうかを設定できます。

**不在着信** – ロック画面に不在着信の通知を表示するかどうかを設定します。

**ショートカット** – ロック画面の**スワイプ**のショートカットを変更できます。

**紛失時の連絡先** – チェックマークをオンにすると、本製品の所有者名をロック画面に表示するよう設定されます。

**ロックタイマー** – 画面がタイムアウトした後、自動的にロックするまでの時間を設定します。

**電源ボタンですぐにロックする** – チェックマークをオンにすると、電源／ロックキーが押されたとき、直ちに画面をロックします。

**< ホームタッチボタン >**

すべての画面の下部に表示されるホームタッチボタンの種類や配置、背景を設定します。［**ボタンの配列**］、［**カラー**］、［**透明な背景**］を設定します。

**< フォント >**

**フォントタイプ** – 本製品とメニューで使用するフォントタイプを設定します。

**フォントサイズ** – 本製品とメニューで表示するフォントのサイズを設定します。

**< その他の画面設定 >**

**画面の明るさ** – 画面の明るさを調整します。 バッテリーを長持ちさせるには、見やすい範囲でできるだけ明るさを抑えて使用してください。

**夜間の明るさ** – チェックマークをオンにすると、0:00～6:00の間、画面の明るさを自動的に0%に設定します。

**通知表示LED** – 不在着信通知、充電時などに通知LEDを使用するかどうかを設定します。

**縦横表示の自動回転** – チェックマークをオンにすると、本製品の向き（縦または横）に合わせて画面が自動的に回転するように設定します。

**バックライト点灯時間** – 画面が自動的にオフになるまでの時間を設定します。

**スマートスクリーン** – チェックマークをオンにすると、画面を見ていることを本製品が検知している間、バックライト点灯を保持します。

**< 詳細設定 >**

**画面OFFエフェクト** – 画面OFFエフェクトを設定します。 設定は、**[レトロTV]**、**[ブラックホール]**、**[フェードアウト]**から選択します。

**スクリーンセーバー** – スイッチをタップすると、オン/オフが切り替わります。 オンにすると、本製品がクレードルに接続されている、充電中である、またはその両方においてスリープ状態となった場合に、設定されたスクリーンセーバーが表示されます。 スクリーンセーバーは、**[時計]**、**[Googleフォト]**から選択します。

# 一般

**< 言語と入力 >**

[**言語と入力**]設定を使用して、本製品に表示するテキストを選択し、ソフトウェアキーボードを構成します（ユーザー辞書に追加した単語を含む）。

**< 位置情報 >**

位置情報サービスをオンにするとGPS、Wi-Fi、モバイルネットワークを使用して、おおよその現在地を把握できます。

**モード** – ロケーションモードを、**[高精度（GPSとネットワーク）]**、**[バッテリーセーブ（ネットワークのみ）]**、および**[本体センサーのみ（GPSのみ）]**から設定します。

**< アカウントと同期 >**

アプリケーションが使用中であるかどうかに関係なく、アプリケーションによるバックグラウンドでのデータ同期を許可します。 この設定をオフにすると、バッテリーの消費を抑え、データ使用量を削減することができます（ただし、完全に使用しないようにすることはできません）。また、アカウントを追加することもできます。

**< ユーザー補助 >**

**[ユーザー補助]**設定を使用して、本製品にインストールされたユーザー補助プラグインを設定します。

**< 片手操作モード >**

**ダイヤルキーパッド** – チェックマークをオンにすると、ダイヤルキーパッドを画面の右側または左側に移動できます。 矢印をタップすれば左右のいずれかに移動できます。

**ロック画面** – チェックマークをオンにすると、画面ロックの解除PIN入力キーパッドを画面の右側または左側に移動できます。 矢印をタップすれば左右のいずれかに移動できます。

**ヘルプ** – 片手操作モードに関する情報が表示されます。

**< ショートカットキー >**

ショートカットキーのオン/オフを設定します。

画面がオフのとき、またはロック画面で音量キーを長押しすると、Qメモ+またはカメラにクイックアクセスします。

**< セキュリティ >**

**携帯端末を暗号化** – セキュリティ保護するため、本製品のデータを暗号化します。電源を入れる際には、暗号解除をするためPINまたはパスワードを入力する必要があります。

**SDカードの暗号化** – セキュリティ保護するため、microSDカードのデータを暗号化します。

**UIMカードのロック設定** – au Micro IC Card (LTE)のロックを設定するか、au Micro IC Card (LTE)のPINを変更します。

**パスワードを表示する** – 入力に合わせ、非表示パスワードの最後の文字を表示します。

**デバイス管理機能の選択** – 紛失した本製品のロックまたはデータ消去を許可するかの設定を行います。

**提供元不明のアプリ** – Google Playストア経由でないアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

**アプリを確認する** – 有害なおそれのあるアプリケーションのインストールを許可しないか、または警告します。

**通知アクセス** – 通知を確認するアプリケーションを設定します。
**ストレージタイプ** – ストレージの種類を表示します。
**確認済み証明書** – 信頼されたCA証明書を表示します。
**ストレージからインストール** – 暗号化された証明書をインストールすることを選択します。
**証明書の消去** – 認証情報をすべて削除します。

**< ゲストモード >**

お客様のプライバシーを保護したり、一部のアプリケーションの使用を制限したりするには、ゲストモードを使用します。
本製品を他の人に貸す場合は、表示するアプリケーションを制限できます。
事前にゲストモードに設定し、オプションをカスタマイズしておきます。

**< ジェスチャー >**

**ミュート** – チェックマークをオンにすると、着信時に本製品を裏返すことで着信音をミュートにできます。
**アラームの停止またはスヌーズ** – チェックマークをオンにすると、本製品を裏返すだけでスヌーズまたはアラームを停止できるようになります。
**ビデオの一時停止** – チェックマークをオンにすると、本製品を裏返すだけで再生中の動画を一時停止できます。
**ヘルプ** – 本製品でのジェスチャー機能の使い方に関するヘルプガイドが開きます。
**センサー感度補正** – センサーの感度（傾斜角や速度）を補正します。

**< QuickCircleケース >**

[**QuickCircleケース**]設定を利用してQuickCircleケース（別売）使用時の設定を行います。[**QuickCircleケース**]スイッチをタップすると、オン/オフが切り替わります。

**< 日付と時刻 >**

[**日付と時刻**] 設定を使用して、日付の表示方法を設定します。 また、これらの設定を使用して、モバイル ネットワークから現在の時刻を取得する代わりに、時刻とタイムゾーンを独自に設定することもできます。

**< ストレージ >**

**内部ストレージ** – 内部ストレージの使用率が表示されます。
**SDカード** – microSDカードの空き容量の合計をチェックします。 安全に取り外すには、[**SDカードのマウント解除**]をタップします。 microSDカードのすべてのデータを削除するには、[**SDカードのデータを消去**]をタップします。

**< バッテリー >**

**バッテリー情報**

電池パックの充電情報が、バッテリー残量の割合およびステータスと一緒に表示されます。

バッテリー充電アイコンをタッチすると、[バッテリー消費状況]画面が表示され、バッテリーの使用レベルと使用状況の詳細を確認できます。 この画面には、バッテリーの電力を最も消費しているコンポーネントやアプリケーションも表示されます。 表示された項目のいずれかをタップすると、詳しい情報を確認できます。

**ステータスバーに表示** – チェックマークをオンにすると、ステータスバーのバッテリーアイコンの横に、バッテリー残量レベルが表示されます。

**バッテリーセーブ**

スイッチをタップすると、オン/オフが切り替わります。 [バッテリーセーブ]をタップすると、次の設定にアクセスできます。

**バッテリーセーブをONにします** – バッテリーセーブを自動的にオンにするバッテリー残量レベルを設定します。 [**すぐに**]、[**バッテリー残量:10%**]、[**バッテリー残量:20%**]、[**バッテリー残量:30%**]、[**バッテリー残量:50%**]から選択します。また、[**バッテリーセーブ項目**]欄の各項目で詳細な設定ができます。

**ヘルプ** – タップすると、バッテリーセーブのヒントに関する情報が表示されます。

**< スマートクリーニング >**

内部ストレージを整理して、空き容量を増やします。

**< アプリ >**

アプリケーションを表示および管理します。

**< デフォルトメッセージアプリ >**

デフォルトで利用するSMSアプリケーションを選択します。

**< バックアップとリセット >**

お使いの設定とデータを管理するための設定を変更します。

**データのバックアップ** – 設定とアプリケーションのデータをGoogleサーバーにバックアップするように設定します。

**バックアップアカウント** – バックアップを行うためにアカウントを設定します。

**自動リストア** – アプリケーションが本製品に再インストールされたとき、設定とアプリケーションのデータを復元するように設定します。

**データの初期化** – 設定を工場出荷時の初期値にリセットし、すべてのデータを削除します。

**< 印刷 >**

特定の画面（**Chrome**で表示されたWebページなど）の内容を、本製品と同じWi-Fiネットワークに接続されているプリンタで印刷できます。

**< 端末情報 >**

使用条件を表示し、端末の状態とソフトウェアのバージョンを確認します。

# PCソフトウェア（LG PC Suite）

「LG PC Suite」は、microUSBケーブルやWi-Fiを使用して本製品をパソコンに接続するためのプログラムです。 この方法で接続すると、本製品の機能をパソコンから使用できます。

**「LG PC Suite」を使用して、次の操作を行うことがきます。**

- パソコンでメディアコンテンツ（音楽、ムービー、画像）を管理および再生します。
- マルチメディア コンテンツを本製品に送信します。
- 本製品とパソコンでデータ（スケジュール、連絡先、ブックマーク）を同期します。
- 本製品内のアプリケーションをバックアップします。
- 本製品内のソフトウェアを更新します。
- 本製品のデータをバックアップおよびリストアします。
- パソコンのマルチメディアコンテンツを、本製品で再生します。
- 本製品のメモをバックアップ、作成、編集します。

**メモ：**アプリケーションの[**ヘルプ**]メニューで、「LG PC Suite」の使い方を参照できます。

**「LG PC Suite」のインストール**

「LG PC Suite」は、LGのWebページからダウンロードできます。

1 www.lg.com にアクセスして、国を選択します。
2 **[サポート]** > **[モバイルサポート]** > **[LG携帯電話]**の順に移動し、**モデルを選択**します。
または
**[サポート]** > **[モバイル]**の順に移動し、モデルを選択します。
3 **[マニュアル&ダウンロード]**の**[PC同期]**をクリックし、**[ダウンロード]**をクリックして「LG PC Suite」をダウンロードします。

**「LG PC Suite」のシステム要件**

**< Windows OSの場合 >**

- OS：Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1
- CPU：1 GHz以上のプロセッサー
- メモリ：512 MB以上のRAM
- グラフィック カード：1024 x 768の解像度、32ビット カラー以上
- HDD：500 MB以上のハードディスクの空き容量（保存するデータの量によってはより多くのハードディスクの空き容量が必要になる場合があります）
- 必要なソフトウェア：LG統合USBドライバー、Windows Media Player 10以降

**< Mac OSの場合 >**

- OS：Mac OS X（10.6.8）またはそれ以降
- メモリ：2GB以上のRAM
- グラフィック カード：1024 x 768の解像度、32ビット カラー以上
- HDD：500 MB以上のハードディスクの空き容量（保存するデータの量によってはより多くのハードディスクの空き容量が必要になる場合があります）
- 必要なソフトウェア：LG United Mobileドライバ

**注意：LG統合USBドライバー**
本製品とパソコンを接続するには、LG統合USBドライバーが必要です。このドライバーは、「LG PC Suite」アプリケーションをインストールするときに、自動的にインストールされます。

**本製品とパソコンの同期**

「LG PC Suite」を使って、本製品やパソコンのデータを簡単かつ自由に同期することができます。 連絡先、スケジュール、ブックマークを同期できます。
その手順は次のとおりです。

1. 本製品をパソコンに接続します（microUSBケーブルまたはWi-Fi接続を使用します）。
2. **[USB接続方法の選択]**が表示されたら、**[メディアデバイス(MTP)]**を選択します。
3. LG PC Suiteを起動して、メインメニュー下の「接続します。」ボタンを選択します。接続方法を選択し、「接続する。」ボタンを選択します。
4. 「個人データを同期する」タブを選択します。
5. 同期するコンテンツのチェックボックスをオンにし、**[同期]**ボタンをクリックします。

**メモ：**本製品とパソコンを同期するには、LG PC Suiteをパソコンにインストールする必要があります。 LG PC Suiteのインストールについては、前のページを参照してください。

**古い端末から新しい端末への連絡先の移動**

パソコンの同期プログラムを使用して、連絡先をCSV形式でパソコンにインポート・端末にエクスポートします。

1. パソコンにLG PC Suiteをインストールします。LG PC Suiteを起動し、microUSBケーブルを使って端末をパソコンに接続します。

2 メインメニューで、「携帯電話機」>「連絡先のインポート･エクスポート」>「携帯電話機にエクスポートする。」を選択します。
3 インポートするファイルの種類と名前を選択するポップアップウィンドウが表示されます。
4 ポップアップで**[選択]**をクリックすると、エクスプローラーが開きます。
5 エクスポートする連絡先ファイルをエクスプローラーで選択し、**[開く]**をクリックします。
6 「エクスポート」をクリックします。
7 端末の連絡先と新しい連絡先データをリンクする**[フィールドのマッピング]**ポップアップが表示されます。
8 パソコンの連絡先と端末の連絡先でデータが競合している場合は、LG PC Suiteで必要な選択や変更を行います。
9 「確認」をクリックします。

# ソフトウェアアップデート

## ソフトウェアアップデート

本製品のソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、大変お手数ですがお問い合わせ先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

**ソフトウェアをダウンロードして更新する**

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ⌂ > [**設定**] > [**一般**]タブ > [**端末情報**] > [**更新センター**] > [**ソフトウェア更新**]の順にタップします。
初めてご利用になる場合は、ソフトウェア更新についての確認画面が表示されます。「**「ソフトウェア更新」に同意します**」にチェックを付けて[**同意する**]をタップしてください。

2 [**アップデートを確認**]をタップします。
新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

3 通信方式を選択します。
ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

4 [**ダウンロード**]をタップします。
新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

5 [**インストールする**]をタップします。
ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中は本製品の再起動を1、2回ほど行います。

6 [**OK**]

# ソフトウェアアップデート

**メモ：**

- ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。
- 本製品のソフトウェア更新プロセスでは、個人情報（Googleアカウントおよびその他のアカウントに関する情報、システム／アプリケーションのデータや設定、ダウンロードしたアプリケーションとDRMライセンスなど）が内部ストレージから失われる可能性があります。そのため、個人データをバックアップしてから本製品のソフトウェアを更新することをお勧めします。当社は、いかなる個人データの損失についても責任を負いません。

# 本書について

- 本製品を使用する前に、本書を注意深くお読みください。 熟読することにより、本製品を確実に、正しく安全に使用できます。
- 本書に記載されている画像の中には、本製品上での表示が異なる場合があります。
- 本製品のアプリケーションとその機能は国、地域、またはハードウェアの仕様によって異なる場合があります。 当社は、当社以外のプロバイダーによって開発されたアプリケーションを使用したために生じたパフォーマンスの問題に責任を負うことはできません。
- 当社は、レジストリ設定の編集やオペレーティングシステムのソフトウェアの変更から生じる、パフォーマンスや互換性の問題には一切責任を負いません。 ご使用のオペレーティングシステムをカスタマイズしようとした結果、本製品またはそのアプリケーションが本来の動作をしなくなることがあります。
- 本製品に付属のソフトウェア、オーディオ、壁紙、画像、その他のメディアは、用途を限定してライセンス供与されています。 これらの素材を抽出して商用その他の目的のために使用すると、著作権法を侵害する可能性があります。 使用者はメディアの違法な使用について全面的に責任を負います。
- 最新版ユーザーガイドにつきましては、UQ mobileホームページ(http://www.uqmobile.jp)より『取扱説明書』をご参照ください。

# 商標

- LGおよびLGロゴは、LG Electronics社の登録商標です。
- その他の商標および著作権は各所有者の所有物です。

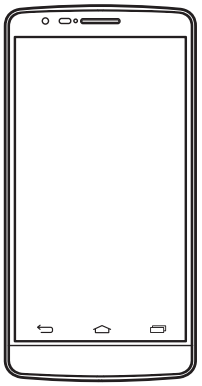
# 本書について

**注意:オープンソースソフトウェア**
GPL、LGPL、MPL、その他のオープンソースライセンスで該当のソースコードを取得する方法については、http://opensource.lge.com/ をご覧ください。
ソース コードとともに、関連するライセンス条件、免責条項、および通知事項もすべてダウンロードできます。

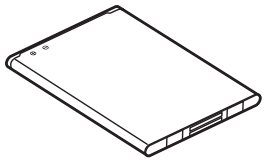
# 同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

**本体**
**（背面カバー含む）**



**電池パック**
**（LGD72UAV）**



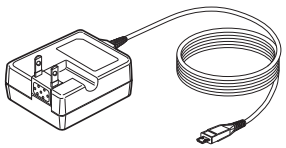
**取扱説明書，ご利用にあたっての注意事項，設定ガイド，保証書**

以下のものは同梱されていません。

- microUSBケーブル
- ACアダプタ
- microSDカード
- イヤホン
- 卓上ホルダ

# 周辺機器のご紹介

**共通ACアダプタ**
**05（0501PWV）**
**（別売）**



**メモ：**

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。
- その他の製品をご使用になると、保証が無効になる場合があります。
- 最新の対応周辺機器につきましては、UQ mobileホームページ（http://www.uqmobile.jp）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
- 上記の周辺機器は、UQ mobileホームページからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

# FAQ

この章では、本製品の使用時に発生する可能性がある、いくつかの問題について説明します。 一部の問題では、サービスプロバイダーへの連絡が必要になりますが、ほとんどの場合はご自分で簡単に解決できます。

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| 電源が入りません。 | 電源／ロックキーを2秒以上押し続けてください。または、電池パックを充電してください。 |
| 充電ができません。 | ACアダプタ（別売）の状態、およびACアダプタ（別売）と本製品の接続を確認してください。 |
| 「UIMカードが挿入されていません」と表示されます。 | au Micro IC Card (LTE)が正しく挿入されていることを確認してください。 |
| Bluetoothを介してどのような機能を利用できますか？ | ステレオ／モノラルヘッドセット、カーキットなどのBluetoothオーディオ機器を接続できます。 また、互換性のある機器にFTPサーバーが接続されている場合、ストレージメディアに保存されているコンテンツを共有できます。 |
| 連絡先はどうすればバックアップできますか？ | 連絡先データは、本製品とGmailの間で同期できます。 |
| Gmailと片方向の同期を設定することはできますか？ | 双方向同期のみ使用可能です。 |
| すべてのEメールフォルダーを同期することはできますか？ | 受信トレイは自動的に同期されます。 その他のフォルダーは、 をタップし、**[フォルダー]**を選択して、フォルダーを選択すると表示できます。 |
| Gmailにアクセスするときは、毎回Gmailにログインする必要がありますか？ | 一度Gmailにログインすると、再度Gmailにログインする必要はありません。 |
| 電子メールにフィルターをかけることはできますか？ | 本製品経由での電子メールのフィルタリングはサポートされていません。 |

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| 電子メール作成中に別のアプリケーションを実行するとどうなりますか？ | 電子メールは自動的に下書きとして保存されます。 |
| 着信音の鳴り始めの音量が、設定した音量で鳴りません。 | 耳に悪い影響を与えないよう、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になる仕様です。 |
| MP3ファイルを着信音として使用する場合、ファイルサイズに制限はありますか？ | MP3ファイルを着信音として使用する場合は、ファイルサイズ制限はありません。 |
| 電話を受けても画面が表示されません。 | 近接センサーの周囲が覆われていないかを確認してください。近接センサーの周囲に汚れがないことを確認してください。 |
| 24時間より古いメッセージの受信時刻が表示されません。 これはどうすれば変更できますか？ | 同日に受信したメッセージに対してのみ時刻を確認できます。 |
| 本体に別のナビゲーション アプリケーションをインストールできますか？ | Play ストアで入手でき、ハードウェアに互換性があるアプリケーションであれば、どれでもインストールして使用できます。 |
| すべての電子メール アカウントの連絡先を同期できますか？ | GmailとMS Exchangeサーバー（電子メールサーバー）の連絡先のみ同期できます。 |
| 本製品のセキュリティ機能には何がありますか？ | 本製品にアクセスまたは使用する前に、ロック解除パターンの入力を要求するよう設定できます。 |

# FAQ

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| ロック解除パターンはどうすれば作成できますか？ | 1. ホーム画面で、 [**設定**] をタップします。<br>2. **[表示]**タブ ＞ **[画面のロック]**の順にタップします。<br>3. **[画面ロックを選択]** ＞ **[パターン]**の順にタップします。 この手順を初めて実行するときは、ロック解除パターンの作成に関する短いチュートリアルが表示されます。<br>4. パターンを一度描画し[**次へ**]をタップします。確認のためにもう一度描画し[**確認**]をタップして設定します。<br>**パターンロックを使用する場合の注意事項**<br>設定したロック解除のパターンを覚えておくことは非常に重要です。 間違ったパターンを5回実行すると、本製品にアクセスできなくなります。 ロック解除パターン、PIN、パスワードは、5回まで入力することができます。 5回とも間違っていた場合には、30秒後に再試行できます。 （ロック解除パターンでバックアップPINを設定済みの場合は、そのバックアップPINコードを使用してパターンロックを解除することができます） |
| ロック解除パターンを忘れてしまい、Googleアカウントを作成していなかった場合は、どうすればよいですか？ | **パターンを忘れた場合：**<br>本製品でGoogleアカウントにログインし、5回とも正しいパターンを入力できなかったときは、[パターンを忘れた場合]ボタンをタップします。 次に、Googleアカウントを使ってログインし、ロックを解除する必要があります。 本製品でGoogleアカウントを作成していない場合や、Googleアカウントを忘れてしまった場合は、ハードリセットを実行する必要があります。<br>**注意：工場出荷状態へのリセットを実施すると、ユーザー アプリケーションおよびユーザー データがすべて削除されます。工場出荷状態へのリセットを実施する場合は、事前に重要なデータをバックアップするようにしてください。** |

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| メモリがいっぱいになったときはわかりますか？ | ステータスバーに通知されます。 |
| 本製品の言語を変更することはできますか？ | 本製品には多言語機能があります。<br>言語を変更する方法：<br>1. ホーム画面で、［**設定**］をタップします。<br>2. **[一般]**タブ ＞ **[言語と入力]** ＞ **[言語]**の順にタップします。<br>3. 目的の言語をタップします。 |
| VPNはどうすれば設定できますか？ | VPNアクセス構成は、ネットワークによって異なります。VPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者から詳細を取得する必要があります。 |
| 画面が2分でオフになります。 バックライトがオフになるまでの時間をどうすれば変更できますか？ | 1. ホーム画面で、［**設定**］をタップします。<br>2. **[表示]**タブの順にタップします。<br>3. **[バックライト点灯時間]**をタップします。<br>4. 希望するバックライトの点灯時間をタップします。 |
| Wi-Fiとモバイルネットワークの両方が使用可能な場合、どちらのサービスを使用しますか？ | データ使用時には、Wi-Fi接続を既定として使用します。（Wi-Fi接続がオンに設定されている場合）。ただし、利用しているサービスを切り替えても通知は行われません。<br>使用中のデータ接続を知るには、画面の上部にあるモバイルネットワークまたはWi-Fiのアイコンを確認します。 |
| ホーム画面からアプリケーションを削除することはできますか？ | 画面の右上にゴミ箱アイコンが表示されるまで、アイコンを長押しします。 次に、指を放さずにアイコンをゴミ箱にドラッグします。 |
| ダウンロードしたアプリケーションが原因でエラーが頻発します。 削除するにはどうすればよいですか？ | 1. ホーム画面で、［**設定**］をタップします。<br>2. **[一般]**タブ **＞ [アプリ] ＞ [ダウンロード済み]**の順にタップします。<br>3. アプリケーションをタップし、**[アンインストール]** ＞ [**OK**]をタップします。 |

# FAQ

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| 必要なUSBドライバーをインストールせずにmicroUSBケーブルを使用して、本製品を充電することはできますか？ | 必要なドライバーがインストールされているかどうかに関わらず、microUSBケーブルで充電できます。 |
| 音楽ファイルをアラームに使用できますか？ | アラーム時計の設定で、音楽をアラーム音として選択します。 |
| 電源がオフの場合、アラームは鳴りますか？ | 電源がオフの場合、アラームは起動しません。 |
| 着信音量が[OFF]または[バイブレート]に設定されている場合、アラームは鳴りますか？ | アラームは、このような場合でも鳴るようにプログラムされています。 |
| 「PINが一致しません」と表示されます。 | PINコードを忘れた場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 |
| 本製品の設定メニューにアクセスできない場合、どうすれば工場出荷状態へのリセットを実行できますか？ | 本製品が元の状態に復元しない場合は、ハードリセット（工場出荷状態へのリセット）を実行して初期化します。 |

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のUQ mobileホームページのお客さまサポート(http://www.uqmobile.jp/support/)で症状をご確認ください。

# 主な仕様

| | | |
|---|---|---|
| ディスプレイ | | 約5インチ、約1,677万色、AH IPS液晶 |
| | | 1,280×720ドット(HD) |
| 質量 | | 約135g(電池パック含む) |
| サイズ<br>(幅×高さ×厚さ) | | 約70mm×138mm×10.3mm<br>(最厚部:約10.7mm) |
| CPU | | MSM8926 |
| メモリ(内蔵) | | ROM:8GB |
| | | RAM:1GB |
| カメラ | 撮影素子 | メインカメラ／フロントカメラ:CMOS |
| | 有効画素数 | メインカメラ:約800万画素<br>フロントカメラ:約130万画素 |
| 連続通話時間 | | 国内(CDMA)約1,100分 |
| | | 海外(GSM)約690分 |
| 連続待受時間 | | 国内(LTE)約600時間 |
| | | 海外(GSM)約670時間 |
| 連続テザリング時間 | | 約460分 |
| テザリング最大接続数 | | 8台 |
| 充電時間 | | 約120分(共通ACアダプタ05(別売)使用時) |
| 無線LAN準拠規格 | | IEEE802.11a/b/g/n準拠 |
| Bluetooth | 対応バージョン | Bluetooth®標準規格Ver.4.0 |
| | 出力 | Bluetooth®標準規格Power Class1 |
| | 通信距離 | 見通しの良い状態で10m以内 |
| | 対応プロファイル | SPP、A2DP、AVRCP、FTP、HDP、HFP、HID、HSP、OPP、PBAP、PAN、PAN NAP、PAN U、apt-X、SCMS-T |
| | 使用周波数帯 | 2.4GHz帯 |

# 主な仕様

## ■電池パック

| | |
|---|---|
| 使用電池 | リチウムイオン電池 |
| 公称電圧 | 3.8V |
| 公称容量 | 2,460mAh |

LG
Life's Good

## お問い合わせ

### ■ 商品に関するお問い合わせ

UQ mobile お客さまセンター　一般電話・携帯電話などから
03-6327-5005（通話料有料）
受付時間：9:00 ～ 18:00　年中無休
・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
・IP 電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

### ■ 電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター　一般電話・携帯電話などから
0120-959-558（無料）
受付時間：9:00 ～ 21:00　年中無休
・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
・IP 電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

### ■ ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ
UQ mobile ホームページ　（http://www.uqmobile.jp）

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

やめましょう、
歩きスマホ。

2014年11月 第1版